I·O DATA

ET-FPS1
取扱説明書

株式会社 アイ・オー・データ機器

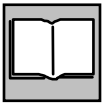
25445-01

【ご注意】

1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。
したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
2) 本製品及び本書の内容については、改良のために予告なく変更することがあります。
3) 本製品及び本書の内容について、不審な点やお気づきの点がございましたら、株式会社アイ・オー・データ機器PLANTコールセンターまでご連絡ください。
4) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。
5) 本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により戦略物資等輸出規制製品に該当する場合があります。
国外に持ち出す場合には、日本国政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。
6) 本サポートソフトウェアに含まれる著作権等の知的財産権は、お客様に移転されません。
7) 本サポートソフトウェアのソースコードについては、如何なる場合もお客様に開示、使用許諾を致しません。また、ソースコードを解明するために本ソフトウェアを解析し、逆アセンブルや、逆コンパイル、またはその他のリバースエンジニアリングを禁止します。
8) 書面による事前承諾を得ずに、本サポートソフトウェアをタイムシェアリング、リース、レンタル、販売、移転、サブライセンスすることを禁止します。
9) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など人命に関る設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
10) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is only suitable for use in Japan. We shall have no liability for any damages arising from the use or inability to use this product in other countries. We neither provide any technical support and/or after-service for the use of this product abroad.)
11) 弊社は、お客様が【ご注意】の諸条件のいずれかに違反されたときは、いつでも本製品のご使用を終了させることができるものとします。
12) お客様は、本製品または、その使用権を第三者に対する再使用許諾、譲渡、移転またはその他の処分を行うことはできません。

●I-O DATA,PLANTは、株式会社アイ・オー・データ機器の登録商標です。
●Microsoft,Windows,WindowsNT,MS,MS-DOSは、米国Microsoft Corporationの登録商標です。
●IntranetWare,NetWareは、米国 Novell, Inc.の登録商標です。
●その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

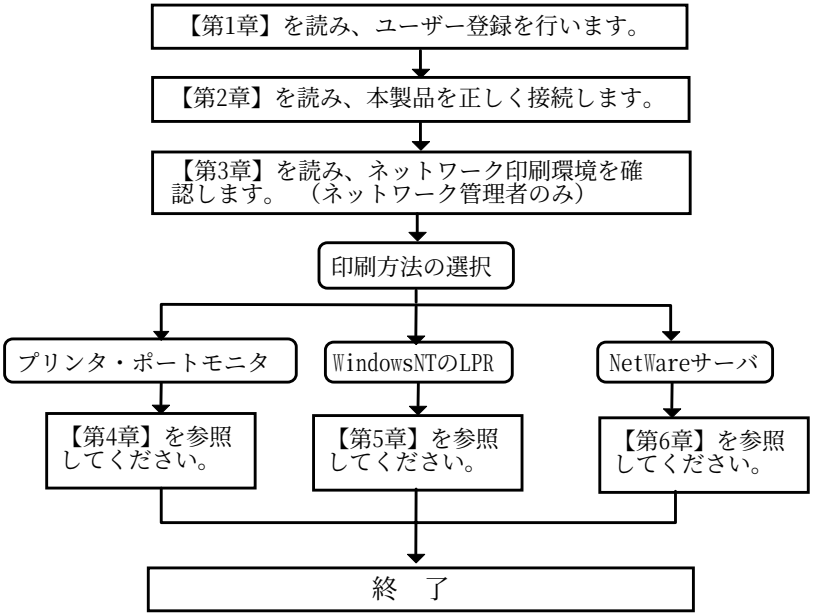
このたびは『ET-FPS1』をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ET-FPS1は、ネットワーク上の各種パソコンからET-FPS1に接続されたプリンタで印刷するための装置とソフトウェアです。ET-FPS1をネットワークに設置することで、ネットワークによる統合的な印刷を実現することができます。
ET-FPS1の機能を充分にご理解いただき、効果的にご利用いただくために、必ずご使用前に本書をお読みください。



本書をご覧になるにあたって

・本書の見方

以下のフローに沿って、必要な箇所をお読みください。



・呼び方

呼び方	意　味
Windows98	Microsoft® Windows®98 Operating System
Windows95	Microsoft® Windows®95 Operating System
Windows98/95	Windows98及びWindows95の総称
WindowsNT4.0	Microsoft®WindowsNT®Operating System Version4.0
WindowsNT3.51	Microsoft®WindowsNT®Operating System Version3.51
WindowsNT	WindowsNT4.0及びWindowsNT3.51の総称
Windows	Windows98/95及びWindowsNTの総称
NetWare4.xJ	Novell NetWare4.1J/4.11J
NetWare3.xJ	Novell NetWare3.12J/3.2J
NetWare	Novell NetWare3.xJ/4.xJの総称
IntranetWare	Novell NetWare4.1J/4.11J

・ハードウェア構成

本書では、以下のような構成を想定して説明しています。構成の相違点を確認しながら読み進めてください。

PC98-NXシリーズ及びDOS/Vマシンの場合

《ドライブ構成》

A：フロッピーディスク装置3.5インチ(1.44MB/720KB)

C：ハードディスク装置

ご使用になるOSがインストール済みで起動可能

D：CD-ROM装置

PC-9800シリーズの場合

《ドライブ構成》

A：ハードディスク装置

ご使用になるOSがインストール済みで起動可能

B：ハードディスク装置

C：フロッピーディスク装置3.5インチ

(1.44MB/1.25MB/720KB)

D：CD-ROM装置

はじめに.....i
目次.....iii

第1章 ご使用になる前に……1
1.1 特徴..... 1
1.2 箱を開けたら..... 2
1.3 動作環境..... 4
1.4 取り扱い及び使用上の注意..... 5
1.5 実行用ディスクの作り方..... 6

第2章 ET-FPS1の取り付け方法 ……7
2.1 各部の名称・機能..... 7
2.2 取り付け方法..... 9

第3章 ネットワーク印刷環境の確認……12
3.1 ネットワーク印刷環境の確認..... 12
3.1.1 ネットワーク印刷環境..... 13
3.2 ET-FPS1設定ツール..... 18
3.2.1 設定ツールの種類..... 18
3.2.2 設定ツールの必要ネットワーク環境..... 19
3.2.3 IOADMIN2のインストール..... 21
3.2.4 DOS用設定ツールのインストール..... 21
3.2.5 IOADMIN2によるET-FPS1のIPアドレスの設定方法22

第4章 プリンタ・ポートモニタでの印刷……23
4.1 セットアップ手順の概要..... 23
4.2 設定ツールでの設定（ET-FPS1管理者のみ）..... 25
4.3 ET-FPS1ﾌﾟﾘﾝﾀ・ﾎﾟｰﾄﾓﾆﾀ（ET-FPS1ｸﾗｲｱﾝﾄすべて）..... 26
4.3.1 インストール前の確認..... 26
4.3.2 ET-FPS1プリンタ・ポートモニタのインストール..... 27

4.3.3 Windows98/95でのプリンタの設定 28
4.3.4 WindowsNT4.0でのプリンタの設定 34
4.3.5 ET-FPS1プリンタ・ポートモニタの
アンインストール及び再インストール 40

第5章 WindowsNTでのLPR 41

5.1 WindowsNT4.0でのLPR 41
5.1.1 プロトコル及びサービスの確認 41
5.1.2 ET-FPS1のIPアドレスの設定 42
5.1.3 プリンタの設定 42
5.1.4 アクセス権の設定 45
5.1.5 スプールの設定 45
5.2 WindowsNT3.51でのLPR 46
5.2.1 プロトコル及びサービスの確認 46
5.2.2 ET-FPS1のIPアドレスの設定 46
5.2.3 プリンタの設定 47
5.2.4 アクセス権の設定 49
5.2.5 スプールの設定 49

第6章 NetWare印刷 50

6.1 設定の概要 50
6.1.1 設定手順の概要 51
6.2 プリントサーバモードの設定 52
6.2.1 NetWare 3.xJ及びIntranetWareバインダリ
モードでのみ使用する場合 52
6.2.2 IntranetWare NDSモードでのみ使用する場合 58
6.2.3 NetWare 3.xJ及びIntranetWare NDSモード
両方で使用する場合 63
6.3 リモートプリンタモードの設定 69
6.3.1 NetWare 3.xJで使用する場合 69

6.3.2 IntranetWareで使用する場合 74
6.4 NetWare関連情報 76

付録1 困った時には……77

●ハードウェアでのトラブル 77
●Windows環境でご使用の場合 78
●NetWare環境でご使用の場合(DOSユーティリティ使用時) 84

付録2 用語解説……88

付録3 設定ツールについて……91

付3.1 設定ツールの概要 91
付3.2 IOADMIN2 92
付3.2.1 IOADMIN2の基本操作 92
付3.2.2 「IOADMIN2」画面 93
付3.3 DOS用設定ツール 96
付3.3.1 IOCONF2 96
付3.3.2 PSINSTAL 105
付3.3.3 SETDIAG 105

付録4 SNMPによる管理……106

●SNMPとは 106
●SNMP機能を使用するための設定 107
●ET-FPS1がサポートしているMIB 108
●TRAP 108

付録5 ハードウェア仕様……109

PLANTコールセンターへのお問い合わせ 110
サポートソフトのバージョンアップ 111
修理について 112

第1章　ご使用になる前に

この章では、ET-FPS1を使用する上で必要な事項を説明しますので、必ず最初にお読みください。

1.1 特徴

● **10BASE-T/100BASE-TXの両方に対応**

100BASE-TX及び10BASE-Tのイーサネットで接続されたネットワーク上であれば、どこでも設置する事ができます。また、オートネゴシエーション機能により100BASE-TX、10BASE-Tを自動的に認識し、最適の速度で通信します。

● **高速双方向通信（IEEE1284 ECPモード）対応**

双方向通信の圧縮機能と内部処理の高速化(32ビット化)により、100BASE-TXネットワークはもちろん、10BASE-Tネットワークでも高速印刷を実現。高速レーザープリンタの性能を損なわない高速印刷を可能としています。

● **IEEE1284 ECP対応パラレルポートを搭載**

IEEEで規格されたECP(Extended Capabilities Port)モードで最高2Mbpsのデータ転送速度を発揮します。

※ECPとは
IEEE1284のモードの1つでMicrosoft社やHP社が中心となって提案した規格。従来製品と比べ圧倒的に速いデータ転送を実現しています。

● **Windows98/95/NT4.0から直接ネットワークプリンタへ印刷を行うためのドライバソフトウェア「プリンタ・ポートモニタ」標準添付**

標準添付の「プリンタ・ポートモニタ」は使用ユーザ数の制限を設けていないため、複数台で利用することができ、別途LPRソフトを追加購入する必要もありません。（Windows98/95、WindowsNT4.0専用です。）

● **スイッチング電源採用**

プリンタの省電力モードからの復帰時に発生する低電圧に強いスイッチ電源を採用。
プリントサーバのハングアップや誤動作を防ぎ、管理者の負担を軽減します。

1.2 箱を開けたら

・同梱構成品

No.	内容物	個数	備考
1	プリントサーバ	1個	ET-FPS1
2	ACアダプタ	1個	
3	固定用マジックテープ	1枚	
4	ET-FPS1 プリンタ・ポートモニタ ソフトウェアディスク	1枚	3.5インチ2HD(1.44MB)
5	ET-FPS1 設定ツール①,② ソフトウェアディスク	2枚	3.5インチ2HD(1.44MB)
6	取扱説明書	1冊	本書
7	ハードウェア保証書	1枚	
8	ユーザー登録カード	1枚	本書巻末
9	Verシール	1枚	
10	ハードウェアシリアルNO.シール	1枚	
11	『安全で快適にお使いいただくために』	1冊	

万が一、不足品がございましたら弊社PLANTコールセンターまでご連絡ください。

お願い：箱・梱包材は大切に保管し、修理などで輸送の際にご使用ください。

●オプション品

プリンタ延長ケーブル（型番P36PS-0.3）
プリンタの筐体の関係でET-FPS1を直結できない場合にご利用ください。
（長さ：30cm）

・ユーザー登録について

オンラインによる登録と、ハガキによる登録の2通りがあります。
いずれかの方法で登録を行ってください。

《オンラインによる登録》（ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ http://www.iodata.co.jp/support/）

I-O DATA ホームページのサポートコーナーに「オンライン・ユーザー登録」ボタンが用意されています。このボタンをクリックするとオンライン登録の案内が表示されますので、画面の表示にしたがって必要事項を記入することにより、即座にユーザー登録が行えます。

オンライン・ユーザー登録を行えば、抽選で賞品が当たる等のお楽しみ企画をご用意しております。
オンライン・ユーザー登録後、お手元のユーザー登録カードは、ユーザー登録番号を記入して大切に保管してください。

《ハガキによる登録》

1)添付のVerシールを、ユーザー登録カード、サポートソフトウェアディスクの「Verシール」と書かれている欄、本書の巻末に貼ってください。
2)ユーザー登録カードに添付のハードウェアシリアルNo.シールを貼り、必要な事項をご記入のうえ、弊社まで必ずご返送ください。



注 意

1)弊社では、PLANTコールセンターでのソフトウェアのバージョンアップサービスなどを行っていますが、これらのサービスはユーザー登録を行った方のみが対象となります。お買い上げいただいた製品ごとに必ず登録してください。
2)ユーザー登録の際、必要事項のご記入もれ(ユーザー登録カードの場合は、必要なシールの貼り忘れなど)があった場合は、ユーザー登録できませんので、必ずご確認ください。

1.3 動作環境

■対応ネットワークOS

・日本語Windows98/95

・日本語WindowsNT4.0/3.51

・NetWare4.xJ,NetWare3.xJ



注 意

プリンタ・ポートモニタはWindows98/95/NT4.0のみ対応です。

■対応プロトコル

・NetBEUI,TCP/IP,IPX/SPX



注 意

WPS（Windows Printing System）方式のプリンタには対応しておりません。

1.4 取り扱い及び使用上の注意

・ 本製品は非常に精密にできておりますので、以下の注意事項を守ってお使いください。
- ● 高温、多湿、低温の場所に放置しないでください。
- ● コネクタ部分に金属を差し込まないでください。
- ● 無理な加重をかけないでください。
- ● 濡らさないでください。
- ● 落とさないでください。
- ● 分解や改造などをしないでください。
- ● 電源コードを無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。また、重いものを上に載せないでください。

・ 本製品の内部の点検･調整･修理は弊社PLANTコールセンターにご依頼ください。

・ 保証について

◎保証期間

･保証期間は、お買い上げの日より1年間です。保証期間を過ぎたものや、保証書に販売店印とお買い上げ日の記述のないものは、有料修理となります。また、修理を受ける場合には保証書が必要になりますので、大切に保管してください。

･弊社が販売中止を決定してから、一定期間が過ぎた製品は、修理ができなくなる場合があります。

詳細は、ハードウェア保証書をご覧ください。

◎保証範囲

次のような場合は、保証の責任を負いかねます。予めご了承ください。

･本製品の使用によって生じた、データの消失及び破損。

･本製品の使用によって生じた、いかなる結果やその他の異常。

･弊社の責任によらない製品の破損、または改造による故障。

･本体内部に液体、金属などの異物が入らないようにしてください。また、本体についた汚れなどを落とす場合は、柔らかい布で乾拭きしてください。
洗剤で汚れを落とす場合は、必ず中性洗剤を水で薄めてご使用ください。
ベンジン、アルコール、シンナー系の溶剤を含んでいるものは使用しないでください。

1.5 実行用ディスクの作り方

本製品に添付されているサポートソフトウェアディスクは必ずバックアップを取り、バックアップディスクの方を実行用ディスクとしてご使用ください。
ここでは、フロッピーディスクドライブがAドライブの場合の例を示します。

1. 1.44MBでフォーマット済みの空きフロッピーディスク(3.5インチ2HD)を用意します。
2. サポートソフトウェアディスクを書き込み禁止にします。
3. **Windows98/95,WindowsNT4.0の場合**は、『ﾏｲ ｺﾝﾋﾟｭｰﾀ』の「3.5ｲﾝﾁ FD(A:)」を右クリックし『ﾃﾞｨｽｸのｺﾋﾟｰ』を選択します。

Windows98/95/NT4.0の例)



MS-DOS (PC DOS)、WindowsNT3.51の場合は、MS-DOSのコマンド入力状態でDISKCOPY コマンドを実行します。

MS-DOSの例)

```
C:\>diskcopy a: a:・
```

(下線部入力)

4. サポートソフトウェアディスクと空きフロッピーディスクをメッセージにしたがって入れ替えながら、バックアップを取ります。

注 意

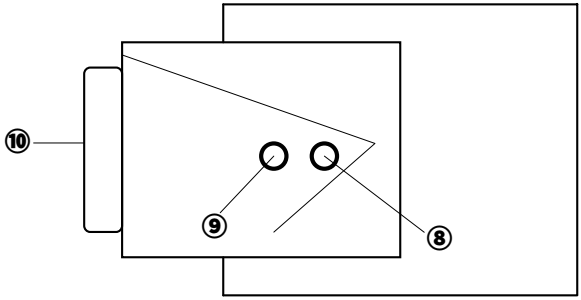
サポートソフトウェアディスクを破損した場合の修理は有償です。
必ずバックアップを取り、サポートソフトウェアディスクは大切に保管してください。

第2章 ET-FPS1の取り付け方法

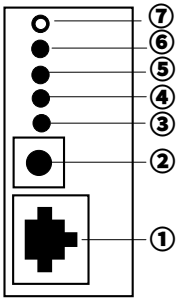
この章ではローカルネットワークにET-FPS1を取り付ける方法を説明します。

2.1 各部の名称・機能

ET-FPS1上面



ET-FPS1背面



名称	機能
①10BASE-T/100BASE-TX用コネクタ	10BASE-T/100BASE-TX用ネットワークケーブルを接続します。
②5V電源ポート	専用ACアダプタを接続します。
③DATA LED	ET-FPS1へのネットワーク上からの受信、またはET-FPS1からネットワークへパケットが送信された時にこのLED（緑）が点灯します。
④100 LED	100BASE-TXで動作している時にこのLED（オレンジ）が点灯します。
⑤10 LED	10BASE-Tで動作している時にこのLED（黄）が点灯します。
⑥BUSY LED	プリンタのBUSY信号がHigh状態の時、このLED（赤）が点灯します。

⑦RESETスイッチ	ET-FPS1のリセットスイッチです。ET-FPS1の電源を切らずに、ET-FPS1を再起動したい時に使用します。
⑧エラーLED(赤)※	以下参照
⑨リンクLED(緑)※	以下参照
⑩パラレルポート	プリンタポートに接続します。物理的に接続不可能な場合は、別売オプションのP36PS-0.3プリンタ延長ケーブルを使用してください。

※「⑧エラーLED（赤）」、「⑨リンクLED（緑）」の意味について

エラーLED(赤)	リンクLED(緑)	状態説明
消灯	点灯	正常動作
点灯	点灯	プリンタもしくはネットワークに異常があります。プリンタの紙切れ,オフライン,電源,接続状態を確認してください。また、ネットワークへの接続状態も確認してください。
点灯	消灯	ET-FPS1に異常が発生しています*1。
消灯	消灯	電源投入時の動作テストで異常が発生しました。赤色のエラーLEDは、エラーが発生したテスト番号*2の数を示す点滅を繰り返します*3。

*1 診断レポートが出力されます。
*2 以下の＜動作テスト内容＞参照。
*3 診断レポートに出力されます。レポートの内容をPLANTコールセンターにお知らせください。

＜動作テスト内容＞

	エラーLED(赤)	リンクLED(緑)
テスト開始時LED	点滅	点滅
テスト中のLED	消灯	点滅

テスト1	CPU	テスト5	ﾄﾗｯﾌﾟ0ﾃｽﾄ
テスト2	ROM ﾁｪｯｸｻﾑ	テスト8	ﾊﾟﾗﾚﾙﾎﾟｰﾄﾚｼﾞｽﾀﾃｽﾄ
テスト3	EEPROM ﾁｪｯｸｻﾑ	テスト9	ｼﾘｱﾙﾎﾟｰﾄﾃｽﾄ
テスト4	ﾒｲﾝﾎﾞｰﾄﾞRAMﾃｽﾄ	テスト10	NETWORK INTERNAL(MAC) LOOP BACKﾃｽﾄ

テスト6,7,11,12は未使用です。

2.2 取り付け方法

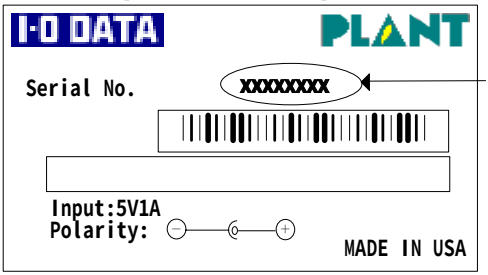
ET-FPS1をネットワークに接続する方法を説明します。

注 意

本製品をプリンタに接続しますが、接続後にプリンタの電源をオンにします。あらかじめプリンタの電源はオフにしておいてください。

1 ET-FPS1のシリアル番号をメモしてください。シリアル番号は、ET-FPS1本体の底部に印刷されています。ET-FPS1本体の設定または各OSへ設定する際に、このシリアル番号が必要になります。

[ET-FPS1本体底部]



2 10BASE-T/100BASE-TX用コネクタ（P7の図の①）にネットワークケーブルを接続します。

特に注意

1)必ずACアダプタを接続する前に、ネットワークケーブルを接続してください。この順序を間違えるとネットワーク（10BASE-Tと100BASE-TX）を誤認識します。
2)100BASE-TXとして使用する場合は、カテゴリ5のUTPケーブルを使用してください。

3 電源ケーブルをET-FPS1本体へ接続してから、ACコンセントに接続します。（P7の図の②）

4 **ET-FPS1のパラレルポート（P7の図の⑩）をプリンタのプリンタポートに接続します。物理的に接続できない場合は、別売オプションのプリンタ延長ケーブル（P2参照）をご利用ください。**


注 意


参 考

1)必ず、ET-FPS1に電源ケーブルを接続し、コンセントに挿してから、ET-FPS1をプリンタポートに接続してください。
2)ACアダプタは、本製品に付属のもの以外は使用しないでください。故障の原因となります。
3)プリンタケーブルを使用した場合、固定用マジックテープを使用すれば、ET-FPS1本体をプリンタの側面などに固定できます。

5 **プリンタの電源をオンにします。**

以上で接続は終了です。

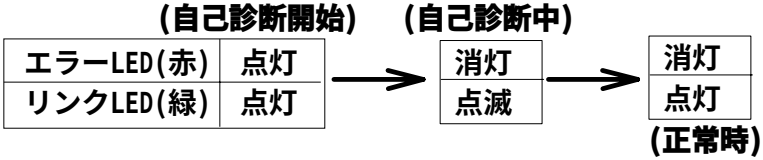

注 意

プリンタの電源はET-FPS1の電源よりも後にオンにし、先にオフにしてください。つまり、プリンタは最後に電源をオンにし、最初に電源をオフにします。

《ET-FPS1の動作確認》

ET-FPS1の電源オン後、ET-FPS1のLEDは以下の動作をします。

自己診断テストが実行されます。この時、ET-FPS1のエラーLEDとリンクLEDは以下のように点灯します。



また、10/100LEDは10Mハブに接続している場合は10のLEDが、100Mハブに接続している場合は100のLEDが点灯します。

注 意

1)正常に点灯しなかった場合は、ET-FPS1へのケーブル接続手順が異なっている事が考えられます。ET-FPS1からすべてのケーブルを取り外し、再度「ネットワークケーブル」→「電源ケーブル」(ACコンセント接続)→「プリンタポート」の順にケーブルを接続してください。
2)ET-FPS1を前もって設定した場合、点灯状況は異なってしまいます。
その際は、IOADMIN2等の設定ツールで工場出荷時設定に戻して行ってみてください。

第3章 ネットワーク印刷環境の確認

この章では、ET-FPS1を使用する際のネットワーク環境の確認とET-FPS1を管理するための設定ツールについて説明します。（ET-FPS1管理者のみお読みください。）

3.1 ネットワーク印刷環境の確認



参照

「ピアツーピア」,「NetBEUIプロトコル」,「TCP/IP」,「LPR」については、【付録2 用語解説】(P88)を参照してください。

ET-FPS1を使用するネットワーク環境によって設定が異なります。
まず、【3.1.1】（次ページ）を参照してご使用のネットワーク印刷環境を確認してください。
また、ET-FPS1を使用する際に必要となる設定ツールを【3.2】(P18)を参照してインストールしておいてください。

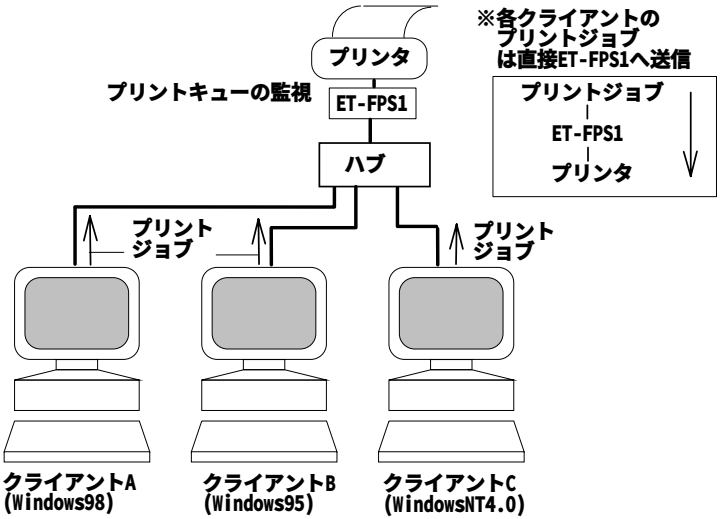
3.1.1 ネットワーク印刷環境

①プリンタ･ポートモニタ印刷環境	
サーバ環境	なし
クライアント使用OS	Windows98/95/NT4.0
クライアント使用プロトコル	NetBEUIまたはTCP/IP

注 意

ET-FPS1は、WindowsNT3.51ではWindowsNT3.51付属のLPRのみに対応しております。

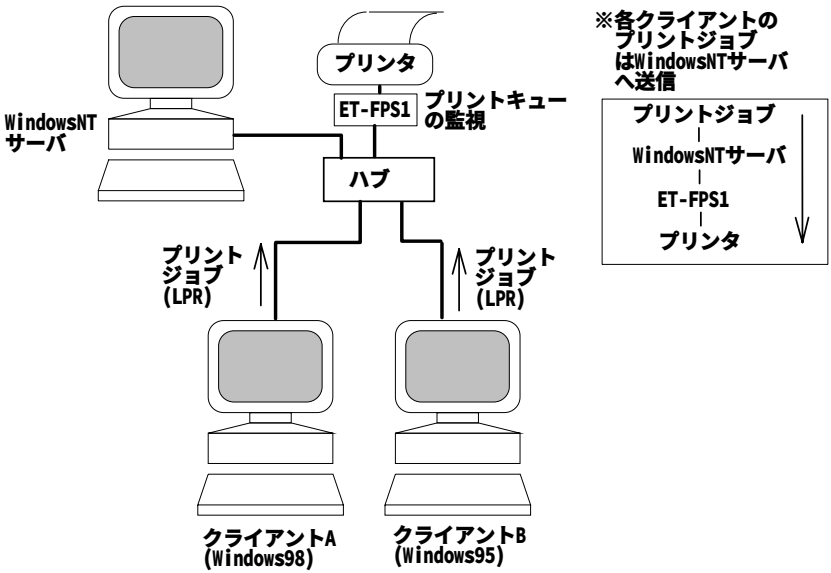
各パソコンは、プリントジョブを直接ET-FPS1プリンタポートに送信します。
付属の「プリンタ･ポートモニタ」をそれぞれのクライアントにインストールすれば、「プリンタ･ポートモニタ」がプリントキューの監視を行い、クライアントからのプリントジョブを別個に処理します。



プリンタ･ポートモニタ印刷設定の詳細は、【第4章】(P23)で行います。
【3.2】(P18)で設定ツールをインストール後、【第4章】を参照してください。

②WindowsNTｻｰﾊﾞ(ﾜｰｸｽﾃｰｼｮﾝ)経由のLPR環境	
サーバ環境	WindowsNTサーバ（ﾜｰｸｽﾃｰｼｮﾝ）
クライアント使用OS	Windows98/95/NT3.51/NT4.0
クライアント使用プロトコル	NetBEUIまたはTCP/IP

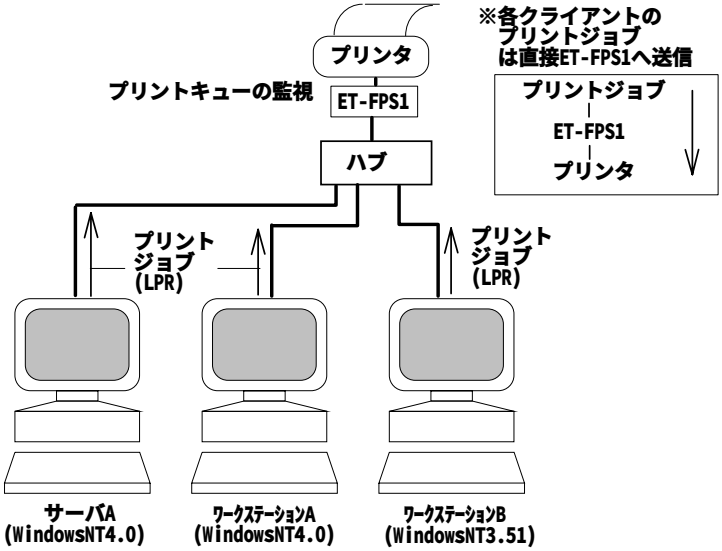
WindowsNTサーバ（ワークステーション）でLPR設定したET-FPS1に、各クライアントパソコンはプリントジョブをWindowsNTサーバ（ワークステーション）のクライアントとしてLPRができます。



WindowsNTのLPR設定の詳細は、[第5章] (P41)で行います。
[3.2] (P18)で設定ツールをインストール後、[第5章] を参照してください。

③WindowsNTｻｰﾊﾞ(ﾜｰｸｽﾃｰｼｮﾝ)からのLPR環境	
サーバ（ﾜｰｸｽﾃｰｼｮﾝ）環境	WindowsNT3.51/4.0
使用プロトコル	TCP/IP

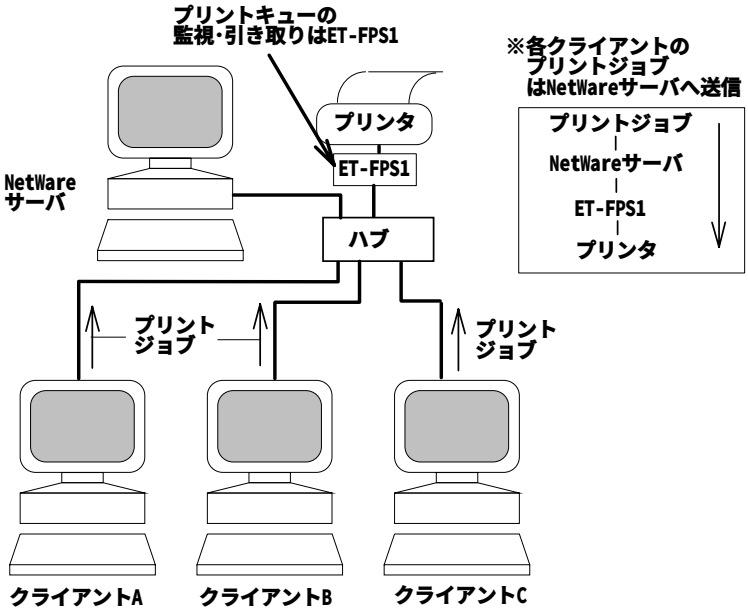
各パソコンからLPR設定したET-FPS1に、プリントジョブを直接送信します。



WindowsNTのLPR設定の詳細は、[第5章] (P41)を参照してください。
[3.2] (P18)で設定ツールをインストール後、[第5章] を参照してください。

④NetWareのプリントサーバモード	
サーバ環境	NetWareサーバ
クライアント使用プロトコル	IPX/SPX

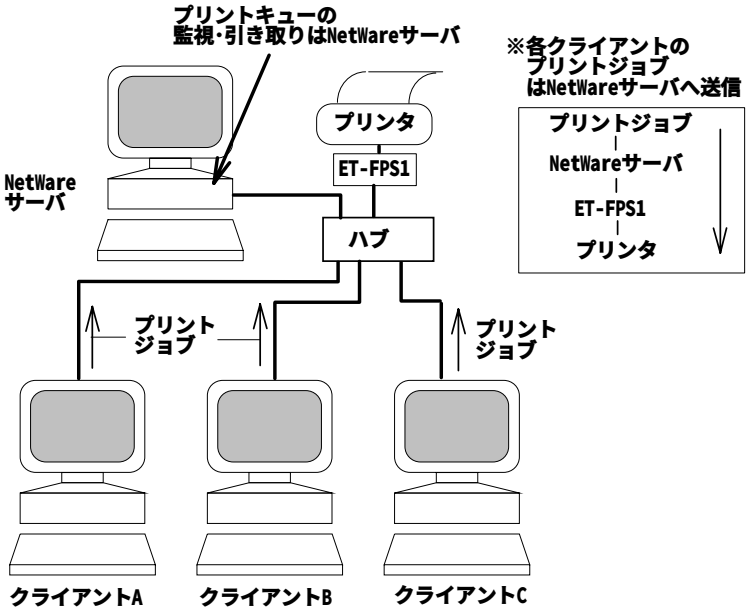
クライアントからのプリントジョブは、NetWareサーバー内に貯えられますが、
ET-FPS1がそのプリントキューを監視し、プリントキューを引き取ります。このため、
NetWareサーバの負荷は軽減されます。ただし、ライセンスを1つ使います。



NetWareのプリントサーバモード設定の詳細は、【第6章】(P50)で行います。
【3.2】(P18)で設定ツールをインストール後、【第6章】を参照してください。

⑤NetWareのリモートプリンタモード	
サーバ環境	NetWareサーバ
クライアント使用プロトコル	IPX/SPX

クライアントからのプリントジョブはNetWareサーバ内に貯えられ、そのプリントキューをNetWareサーバが監視し、ET-FPS1に送信します。このため、NetWareサーバの負荷が大きくなります。ただし、ライセンスは使いません。



NetWareのリモートプリンタモード設定の詳細は、【第6章】(P50)で行います。
【3.2】(P18)で設定ツールをインストール後、【第6章】を参照してください。

注 意

ET-FPS1をリモートプリンタとしてインストールした場合は、TCP/IP,NetBEUIプロトコルの設定･利用はできません。

3.2 ET-FPS1設定ツール

ET-FPS1を各環境で使用するには、付属の「ET-FPS1設定ツール①,②」ディスクから設定ツール（IOADMIN2またはDOS用設定ツール）をインストールしておく必要があります。インストール後、各環境で設定が必要ですが、設定は［第4章］以降で行います。以下を参照後、各設定ツールのインストールを行ってください。

3.2.1 設定ツールの種類

本製品には、設定ツールとして以下の2種類があります。
いずれか一方をインストールしてください。

1. Windows用設定ツール（IOADMIN2）
2. DOS用設定ツール（IOCONF2、PSINSTAL、SETDIAGの3つ）

各ツールの詳細は、［付録3］(P91)を参照してください。

■ インストール及び起動方法

	Windows用設定ツール	DOS用設定ツール
ｲﾝｽﾄｰﾙ方法	ｲﾝｽﾄｰﾗ（SETUP.EXE）でｲﾝｽﾄｰﾙ（［3.2.3］P21参照）	「ET-FPS1設定ツール②」から自分でコピー（［3.2.4］P21参照）
起動方法	Windows上から起動	DOSのコマンドライン（WindowsのDOSコマンドプロンプトを含む）から起動

注 意

Windows用設定ツールとDOS用設定ツールは同様の機能があり、同様の設定が可能ですが、「印刷中のジョブの削除」はWindows用設定ツール（NetWareサーバ環境またはLPR時）のみしかできません。

3.2.2 設定ツールの必要ネットワーク環境


注 意


参 考

1)インストールを行う前に、ネットワークが正常に利用できることを確認しておいてください。
2)以下の各OSで必要なプロトコル及びサービスはET-FPS1管理者だけのものです。IOADMIN2を使用しないクライアント及びネットワーク上では、以下のプロトコル及びサービスがサポートされている必要はありません。
3)プロトコルにTCP/IPを使用する場合は、必ずIPアドレスとネットワークサブマスクを設定しておいてください。

設定ツールを使用するには以下の項目が設定されている必要があります。

■Windows98/95の場合

『ｺﾝﾄﾛｰﾙﾊﾟﾈﾙ』から『ﾈｯﾄﾜｰｸ』をダブルクリックし、「ﾈｯﾄﾜｰｸの設定」を参照してください。
以下のプロトコル及びサービスがインストールされていることを確認してください。

①IPX/SPX互換プロトコルまたはTCP/IP
②NetWareネットワーククライアント（またはNovell IntranetWare Client※）

※ NetWare4.xJ（NDS）環境で使用するには、「IntranetWare/NetWare Client for Windows95」が必要です。

インストールされていない場合は、[追加]ボタンをクリックし、これらをインストールしてください。
（インストール方法はWindows98/95の取扱説明書を参照してください。）

■WindowsNT4.0の場合

『ｺﾝﾄﾛｰﾙﾊﾟﾈﾙ』から『ﾈｯﾄﾜｰｸ』をダブルクリックし、「ﾈｯﾄﾜｰｸ」を参照してください。以下のプロトコル及びサービスがインストールされていることを確認してください。

①NWLink IPX/SPX互換トランスポートまたはTCP/IP

②Client Service for NetWare

（または、Novell IntranetWare Client for WindowsNT※）

※ NetWare4.xJ（NDS）環境で使用するには、「IntranetWare/NetWare Client for WindowsNT」が必要です。

インストールされていない場合は、[プロトコル][サービス]の各タブで[追加]ボタンをクリックし、これらをインストールしてください。

（インストール方法はWindowsNT4.0の取扱説明書を参照してください。）

■WindowsNT3.51の場合

『ｺﾝﾄﾛｰﾙﾊﾟﾈﾙ』から『ﾈｯﾄﾜｰｸ』をダブルクリックし、「ﾈｯﾄﾜｰｸの設定」を参照してください。以下のプロトコル及びサービスがインストールされていることを確認してください。

①NWLink IPX/SPX互換トランスポートまたはTCP/IP

②NetWareクライアントサービス

（または、Novell IntranetWare Client for WindowsNT※）

※ NetWare4.xJ（NDS）環境で使用するには、「IntranetWare/NetWare Client for WindowsNT」が必要です。

インストールされていない場合は、[ソフトウェアの追加]ボタンをクリックし、これらをインストールしてください。

（インストール方法はWindowsNT3.51の取扱説明書を参照してください。）

3.2.3 IOADMIN2のインストール

1. Windowsを起動します。
2. 『ｽﾀｰﾄ』メニュー→『ﾌｧｲﾙ名を指定して実行』を選択します。
   WindowsNT3.51の場合は、『プログラムマネージャ』→『アイコン』→
   『ファイル名を指定して実行』を選択します。
3. 「ET-FPS1設定ツール①」ディスクをﾌﾛｯﾋﾟｰﾃﾞｨｽｸﾄﾞﾗｲﾌﾞにｾｯﾄします。
4. キーボードから次のように入力します。
   A:\SETUP・　(下線部入力：ﾌﾛｯﾋﾟｰﾃﾞｨｽｸﾄﾞﾗｲﾌﾞがAドライブの場合)
5. 画面の指示に従って、ET-FPS1設定ツールをインストールします。
6. インストール途中でフロッピーディスクを要求されます。
   「ET-FPS1設定ツール②」ディスクと入れ替えて[OK]ボタンをクリックしてください。インストールを続行します。

インストールが完了すると、「ET-FPS1 ADMIN」プログラムグループが生成されます。このグループには「IOADMIN2」、「README」、「ｱﾝｲﾝｽﾄｰﾙ」があります。

3.2.4 DOS用設定ツールのインストール

DOS用設定ツール（IOCONF2、PSINSTAL、SETDIAGの3つ）のインストーラは付属しておりません。COPYコマンド等を利用してﾊｰﾄﾞﾃﾞｨｽｸにコピーして使用してください。

例）DOS用設定ツールをハードディスク（のﾙｰﾄﾃﾞｨﾚｸﾄﾘ）にコピーする例

①パソコン起動後、「ET-FPS1設定ツール②」ディスクをフロッピーディスクドライブにセットします。

②以下を入力して、DOS用設定ツールをハードディスクにコピーします。（以下の例は、ﾌﾛｯﾋﾟｰﾃﾞｨｽｸﾄﾞﾗｲﾌﾞがAドライブ、ﾊｰﾄﾞﾃﾞｨｽｸﾄﾞﾗｲﾌﾞがCドライブの例です。）

C:\>COPY A:\DOS・　(下線部入力)

③以上でDOS用設定ツール（IOCONF2、PSINSTAL、SETDIAGの3つ）のコピーは終了です。

3.2.5 IOADMIN2によるET-FPS1のIPアドレスの設定方法

IOADMIN2では、ET-FPS1への各種設定が可能です。詳細は、次章以降で行います。
ここでは、IOADMIN2でのIPアドレスの設定方法の例を説明します。

1 「ET-FPS1 ADMIN」グループから「IOADMIN2」を起動します。

2 ET-FPS1設定用で使用しているプロトコルを選択後（以下の例はTCP/IPを選択した例です。）、[OK]ボタンをクリックします。

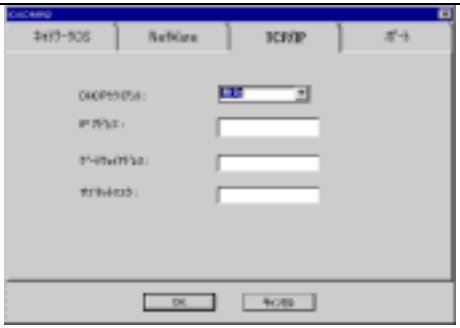


注意 ご使用の環境にIPX/SPXまたはTCP/IPいずれか一方のプロトコルしか使用していない場合はこの画面は表示されません。（以下の設定はTCP/IPを使用している場合です。）

3 しばらくすると「IOADMIN2」画面が表示されますので、設定する「ET-FPS1」を選択後、[設定]ボタンをクリックします。

4 「ﾈｯﾄﾜｰｸOS」タブで「TCP/IP」チェックボックスがチェックされていることを確認後、「TCP/IP」タブをクリックします。

5 [IPｱﾄﾞﾚｽ],[ｹﾞｰﾄｳｪｲｱﾄﾞﾚｽ],[ｻﾌﾞﾈｯﾄﾏｽｸ]設定後、[OK]ボタンをクリックします。（ネットワーク内に「DHCPｻｰﾊﾞ」がある場合は、「DHCPｸﾗｲｱﾝﾄ:」を「有効」にして[OK]ボタンをクリックしてください。）



6 「IOADMIN2」画面に戻ります。[終了]ボタンをクリックして終了します。

第4章 プリンタ・ポートモニタでの印刷

この章では、ET-FPS1をピアツーピア印刷環境で使用する場合の設定方法を説明します。


注 意

WindowsNT3.51ではLPRのみに対応しております。
方法については［5.2 WindowsNT3.51でのLPR］(P46)を参照してください。

4.1 セットアップ手順の概要

ピアツーピア環境でET-FPS1を使用する場合、「ET-FPS1プリンタ・ポートモニタ」を使用します。ただし、「ET-FPS1プリンタ・ポートモニタ」を使用するプロトコル（NetBEUIまたはTCP/IPのいずれか）によって設定手順が異なります。次ページの手順で設定してください。


参 考

［NetBEUI,TCP/IPの特徴］
・NetBEUI
　①設定が簡易
　②ルーティング不可（小規模LAN用）
　③TCP/IPに比べ高速（パソコンの台数が少ない場合）
・TCP/IP
　①設定が煩雑
　②ルーティング可（大規模LAN用）
　③NetBEUIに比べ低速

NetBEUIを使用する場合

［4.3］(P26)を参照して「ET-FPS1プリンタ・ポートモニタ」のインストールと設定を行ってください。

（設定ツールによる設定は必要ありません。）

TCP/IPを使用する場合

1.設定ツールでET-FPS1にIPアドレスを設定します。（［4.2］次ページ参照）

2.［4.3］(P26)を参照して「ET-FPS1プリンタ・ポートモニタ」のインストールと設定を行ってください。

4.2 設定ツールでの設定（ET-FPS1管理者のみ）


注 意


参 照

1)「ET-FPS1プリンタ･ポートモニタ」をNetBEUIプロトコルで使用する場合は、以下の設定は必要ありません。[4.3] 次ページへお進みください。
2)ET-FPS1管理者のネットワーク環境に必要なプロトコル等が組みこまれているか確認しておいてください。（[3.2.2 設定ツールの必要ネットワーク環境] (P19)参照）
3)設定ツールのインストール方法については [3.2]（P18）を参照してください。
4)ET-FPS1をTCP/IPのプロトコルで使用する際には、ET-FPS1用に1つのIPアドレスが必要です。（ET-FPS1 1台につき1つのIPアドレスが必要です。）
また、各ユーザーのTCP/IP設定（IPアドレス等の設定）を事前に行っておいてください。

ET-FPS1をTCP/IPのプロトコルで使用する際には、設定ツールIOADMIN2でIPアドレスの設定が必要です。設定の詳細は [3.2.5] (P22)を参照してください。
設定後、次ページ [4.3] を参照して各クライアントすべてに「ET-FPS1プリンタ･ポートモニタ」をインストールしてください。

4.3 ET-FPS1プリンタ・ポートモニタ (ET-FPS1クライアントすべて)

注 意

セットアップを行う前に…
1)ネットワークが正常に利用できることを確認しておいてください。
2)ET-FPS1プリンタ･ポートモニタはWindows98/95/NT4.0のみ対応です。WindowsNT3.51には対応しておりません。(WindowsNT3.51はLPR印刷のみ対応)
3)『ｽﾀｰﾄ』→『設定』→『ｺﾝﾄﾛｰﾙﾊﾟﾈﾙ』の「地域」が[日本語]となっていることを確認してください。

ピアツーピア環境では、「ET-FPS1プリンタ･ポートモニタ」をインストールし、設定すれば、印刷できるようになります。(ET-FPS1を使用する全てのパソコンで設定が必要です。)
ただし、「ET-FPS1プリンタ･ポートモニタ」はNetBEUIまたはTCP/IPのいずれかのプロトコルを使用します。まず、以下の [4.3.1] でプロトコルの確認を行ってください。

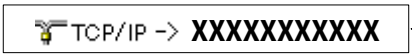
4.3.1 インストール前の確認

「ET-FPS1プリンタ･ポートモニタ」をインストールする前に、使用するプロトコルが使用可能になっていることを次の手順で確認します。

1 **『ｺﾝﾄﾛｰﾙﾊﾟﾈﾙ』→『ﾈｯﾄﾜｰｸ』を選択します。**

2 **ネットワークソフトウェアコンポーネントの一覧に使用するプロトコルが表示されていることを確認します。表示されていない場合は、使用するプロトコルを追加します。ネットワークプロトコルを追加する方法については、Windowsの取扱説明書をご覧ください。**

TCP/IPの場合)



NetBEUIの場合)



4.3.2 ET-FPS1プリンタ・ポートモニタのインストール


注 意

プリンタ･ポートモニタを再インストールする場合は、アンインストールした後、再インストール前に必ずパソコンを再起動してください。

1. 「ET-FPS1 プリンタ･ポートモニタ」ディスクをフロッピーディスクドライブに挿入します。
2. 『ｽﾀｰﾄ』メニューの[ﾌｧｲﾙ名を指定して実行]を選択し、次のように入力します。
   A:\SETUP・ （下線部入力：フロッピーディスクドライブがAの場合）
3. インストール画面に表示される内容を読み、読み終わったら［次へ］ボタンをクリックします。
4. 使用するプロトコルを選択し、［次へ］ボタンをクリックします。
5. インストール先設定の画面が表示されます。
   異なるパスにインストールしたい場合は、［参照］ボタンをクリックしパスを選択または入力します。［次へ］ボタンをクリックします。
6. インストールするソフトウェアを格納するプログラムフォルダ（プログラムグループ）を選択します。（工場出荷時設定は『PLANT ET-FPS1』です。）
7. ポート名を入力します。（工場出荷時設定は『ET-FPS1』です。）
   入力後、[OK]ボタンをクリックします。
   コピーを開始します。
8. プリンタ･ポートモニタのインストールが終了すると、Windowsを再起動するようにメッセージが表示されます。一度再起動してください。

この後、各パソコンで「ET-FPS1プリンタ･ポートモニタ」の設定が必要です。

Windows98/95の場合 ……次ページ参照

WindowsNT4.0の場合 …… [4.3.4] P34参照

4.3.3 Windows98/95でのプリンタの設定

各パソコンでET-FPS1を使用するには、各パソコンのプリンタポートをET-FPS1に設定する必要があります。
ET-FPS1のプリンタポートは1つのプリンタでのみ使用されます。
ただし、ET-FPS1が1つのネットワーク上で2台以上使用されている環境で、それぞれのET-FPS1にピアツーピア印刷をするプリンタを設定する場合、2台目以降の設定は1台目の設定と異なります。

注 意

以下の作業の前に次の事項について確認してください。
1)プリンタ･ポートモニタがインストール済みである事。
2)ネットワークが正常に利用でき、ET-FPS1が電源オンになっている事。
3)プリンタのプリンタ･ポートとET-FPS1が正しく接続されていること。

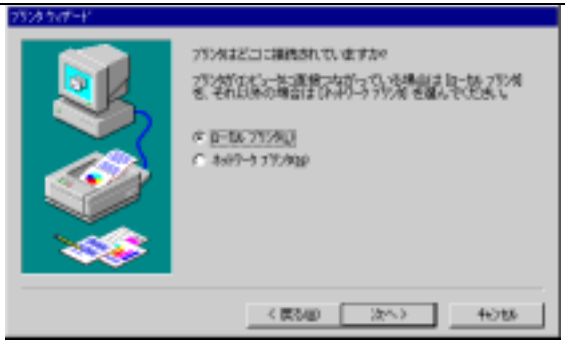
1台目のプリンタにET-FPS1を設定する場合
　以下の［■ Windows98/95での1台目のプリンタの設定］を参照してください。
2台目以降のプリンタにET-FPS1を設定する場合
　［■ Windows98/95での2台目以降のプリンタの設定］(P31)を参照してください。

■ Windows98/95での1台目のプリンタの設定

1 『ｽﾀｰﾄ』メニューの『設定』→『ﾌﾟﾘﾝﾀ』を選択します。

2 ［ﾌﾟﾘﾝﾀの追加］をダブルクリックします。ﾌﾟﾘﾝﾀｳｨｻﾞｰﾄﾞが起動します。
［次へ］ボタンをクリックします。

3 **［ローカルプリンタ］**を選択し、［次へ］ボタンをクリックします。



4 印刷に使用するET-FPS1接続のプリンタの製造元とプリンタのモデルを選択し、[次へ]ボタンをクリックしてください。

5 [利用できるﾎﾟｰﾄ] で [ET-FPS1] を選択します。（ここで選択するポートは、[4.3.2] (P27)手順7で指定したポート名です。）[ﾎﾟｰﾄの設定] ボタンをクリックします。



6 ET-FPS1を使用しているプロトコルによって表示されるダイアログボックスが異なります。

TCP/IPの場合



NetBEUIの場合



①	ET-FPS1に割り当てたIPアドレス（設定ツールで設定したIPアドレス）を設定します。DHCPクライアント機能を有効にした場合、ここで設定したIPアドレスは連動しませんので、再設定してください。
②	ポートの名前です。
③	各プリントジョブでバナーページを印刷する場合は、［ﾊﾞﾅｰを有効にする］ボックスをチェックします。その項目のユーザ名がバナーページに印刷される名前です。（「ﾊﾞﾅｰを有効にする」をチェックした場合、1枚目にET-FPS1の情報が印刷されるようになります。）
④	ET-FPS1プリントサーバが別のジョブを実行中である時に、パソコンがET-FPS1プリントサーバにジョブを再送信するために使用する［ﾘﾄﾗｲ間隔］を設定します。
⑤	デバイス名です。設定は［参照］ボタンをクリックすると、ネットワーク上のET-FPS1プリントサーバが検索され、利用できるET-FPS1が一覧表示されます。

7 プリンタ名を入力し、［次へ］ボタンをクリックします。



8 設定を終了したときにテストページを印刷するかどうかを選択します。［完了］ボタンをクリックします。

参照

1)EPSON MJ-1050,MJ-3000C,MJ-5000C,MJ-5100C,MJ-510C,MJ-6000C, MJ-8000C,MJ-800C,MJ-810C,MJ-830C,MJ-900C,MJ-910C,MJ-930C, PM-700Cで、手順通りにWindows98/95でプリンタを接続して設定しても、印刷できない場合は、【付録1】(P77)を参照してください。
2)プリンタを共有プリンタに設定できます。この場合、設定中のパソコンでプリンタのキューが管理されます。すべてのユーザジョブは、そのパソコンで受信され、ハードディスクに保存されます。プリンタが他のジョブを処理中の場合、そのジョブの終了後に、キューがプリンタに転送されます。

以上でWindows98/95への設定は終了です。

■Windows98/95での2台目以降のプリンタの設定

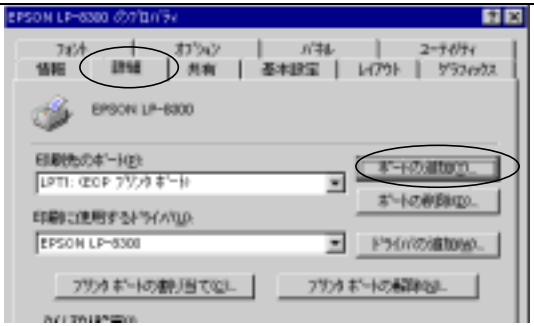
注 意

ET-FPS1がすでに稼動しているネットワークに、新たにET-FPS1プリンタを追加する場合、2番目以降のET-FPS1プリンタの作成に、最初のET-FPS1プリンタで使われたポートは使用できません。ネットワーク上のパソコンから複数のプリンタに印刷したい場合は、以下の手順で別のポート用に作成したプリンタを使う必要があります。

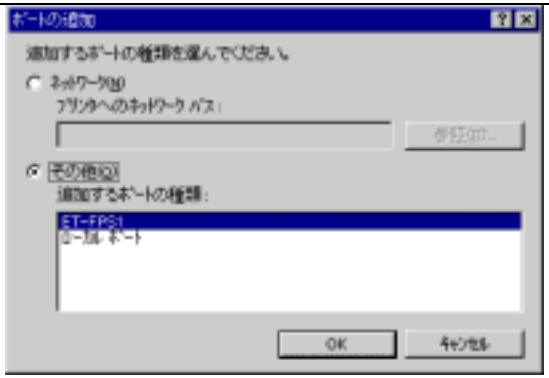
1 『ｽﾀｰﾄ』メニューの『設定』→『ﾌﾟﾘﾝﾀ』を選択します。

2 既存のプリンタをダブルクリックし、『ﾌﾟﾘﾝﾀ』メニューの『ﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ』を選択します。

3 「詳細」タブ→[ﾎﾟｰﾄの追加]ボタンをクリックします。



4 [その他] オプションを選択し、リストから「ET-FPS1」を選択し、[OK]ボタンを押します。



5 **ET-FPS1を使用しているプロトコルによって表示されるダイアログボックスが異なります。**

TCP/IPの場合



NetBEUIの場合



①	ET-FPS1に割り当てたIPアドレス（設定ツールで設定したIPアドレス）を設定します。DHCPクライアント機能を有効にした場合、ここで設定したIPアドレスは連動しませんので、再設定してください。
②	ポートの名前です。
③	各プリントジョブでバナーページを印刷する場合は、［ﾊﾞﾅｰを有効にする］ボックスをチェックします。その項目のユーザ名がバナーページに印刷される名前です。（「ﾊﾞﾅｰを有効にする」をチェックした場合、1枚目にET-FPS1の情報が印刷されるようになります。）
④	ET-FPS1プリントサーバが別のジョブを実行中である時に、パソコンがET-FPS1プリントサーバにジョブを再送信するために使用する［ﾘﾄﾗｲ間隔］を設定します。
⑤	デバイス名です。設定は［参照］ボタンをクリックすると、ネットワーク上のET-FPS1プリントサーバが検索され、利用できるET-FPS1が一覧表示されます。


注 意

新規のET-FPS1にプリンタを追加する場合は、上記の「デバイス名」、「ポートの名前」を新たに設定し直してください。
Windows98/95では、[名前]には、既に作成されている印刷先ポート名をプレフィックス（前に付ける文字列）とする名前であってはいけません。例えば、既に「PRINT1」というポート名が存在したとすると、「PRINT1-A」や「PRINT1-B」といった、「PRINT1」を先頭に持つ名前を付けることはできません。

6 **「ﾎﾟｰﾄの追加」ダイアログボックスの［OK］ボタンをクリックし、プロパティダイアログボックスの［OK］ボタンをクリックします。**

以上で新しいポートの追加は完了です。

4.3.4 WindowsNT4.0でのプリンタの設定

各パソコンでET-FPS1を使用するには、各パソコンのプリンタポートをET-FPS1に設定する必要があります。ET-FPS1のプリンタポートは1つのプリンタでのみ使用されます。ただし、ET-FPS1が1つのネットワーク上で2台以上使用されている環境で、それぞれのET-FPS1にピアツーピア印刷をするプリンタを設定する場合、2台目以降の設定は1台目の設定と異なります。

注 意

以下の作業の前に次の事項について確認してください。
1)プリンタ･ポートモニタがインストール済みであること。
2)ネットワークが正常に利用でき、ET-FPS1の電源がオンになっていること。
3)プリンタのプリンタポートとET-FPS1が正しく接続されていること。

1台目のプリンタにET-FPS1を設定する場合

以下の［■ WindowsNT4.0での1台目のプリンタの設定］を参照してください。

2台目以降のプリンタにET-FPS1を設定する場合

［■ WindowsNT4.0での2台目以降のプリンタの設定］(P37)を参照してください。

■ WindowsNT4.0での1台目のプリンタの設定

1 『ｽﾀｰﾄ』メニューの『設定』→『ﾌﾟﾘﾝﾀ』を選択します。

2 ［ﾌﾟﾘﾝﾀの追加］をダブルクリックします。ﾌﾟﾘﾝﾀの追加ｳｨｻﾞｰﾄﾞが起動します。［次へ］ボタンをクリックします。

3 **［このｺﾝﾋﾟｭｰﾀ］**を選択し、［次へ］ボタンをクリックします。

4 「利用可能なﾎﾟｰﾄ」で、［ET-FPS1］を選択します。（ここで選択するポートは、［4.3.2］(P27)手順7で指定したポート名です。）
行頭のボックスがチェックされていることを確認してから、［ﾎﾟｰﾄの構成］ボタンをクリックします。



5 **ET-FPS1を使用しているプロトコルによって表示されるダイアログボックスが異なります。**

TCP/IPの場合



NetBEUIの場合



①	ET-FPS1に割り当てたIPアドレス（設定ツールで設定したIPアドレス）を設定します。DHCPクライアント機能を有効にした場合、ここで設定したIPアドレスは連動しませんので、再設定してください。
②	ポートの名前です。
③	各プリントジョブでバナーページを印刷する場合は、［ﾊﾞﾅｰを有効にする］ボックスをチェックします。その項目のユーザ名がバナーページに印刷される名前です。（「ﾊﾞﾅｰを有効にする」をチェックした場合、1枚目にET-FPS1の情報が印刷されるようになります。）
④	ET-FPS1プリントサーバが別のジョブを実行中である時に、パソコンがET-FPS1プリントサーバにジョブを再送信するために使用する［ﾘﾄﾗｲ間隔］を設定します。
⑤	デバイス名です。設定は［参照］ボタンをクリックすると、ネットワーク上のET-FPS1プリントサーバが検索され、利用できるET-FPS1が一覧表示されます。

6 印刷に使用するET-FPS1接続のプリンタを選択し、[次へ] ボタンをクリックします。



7 プリンタ名を入力し、[次へ] ボタンをクリックします。

8 これを共有プリンタとするかどうかを選択します。[次へ] ボタンをクリックします。



参考

プリンタを共有プリンタに設定できます。この場合、設定中のパソコンでプリンタのキューが管理されます。すべてのユーザジョブは、そのパソコンで受信され、ハードディスクに保存されます。プリンタが他のジョブを処理中の場合、そのジョブの終了後に、キューがプリンタに転送されます。
共有したパソコンが無いと「印刷不可」となります。

9 この設定を終了したときにテストページを印刷するかどうかを選択します。
[完了] ボタンをクリックします。

以上でWindowsNT4.0への設定は終了です。

■ WindowsNT4.0での2台目以降のプリンタの設定

注 意

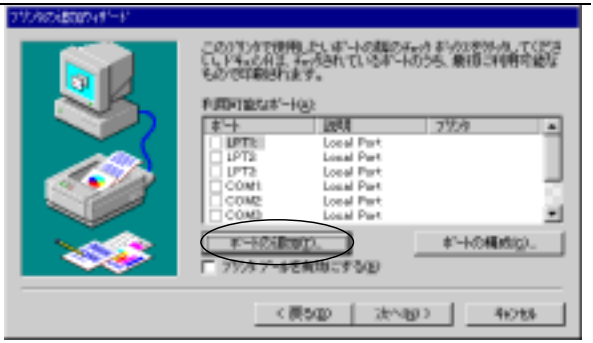
ET-FPS1がすでに稼動しているネットワークに、新たにET-FPS1プリンタを追加する場合、2番目以降のET-FPS1プリンタの作成に、最初のET-FPS1プリンタで使われたポートは使用できません。ネットワーク上のパソコンから複数のプリンタに印刷したい場合は、以下の手順で別のポート用に作成したプリンタを使う必要があります。

1 『ｽﾀｰﾄ』メニューの『設定』→『ﾌﾟﾘﾝﾀ』を選択します。

2 [ﾌﾟﾘﾝﾀの追加] をダブルクリックします。ﾌﾟﾘﾝﾀの追加ｳｨｻﾞｰﾄﾞが起動します。[次へ] ボタンをクリックします。

3 **[このｺﾝﾋﾟｭｰﾀ]** を選択し、[次へ] ボタンをクリックします。

4 [ﾎﾟｰﾄの追加] ボタンをクリックします。



5 表示された「ﾌﾟﾘﾝﾀﾎﾟｰﾄ」画面の [利用可能なﾌﾟﾘﾝﾀﾎﾟｰﾄ] リストの [ET-FPS1]を選択してから [新しいﾎﾟｰﾄ] ボタンをクリックします。



6 **ET-FPS1を使用しているプロトコルによって表示されるダイアログボックスが異なります。**

TCP/IPの場合



NetBEUIの場合



①	ET-FPS1に割り当てたIPアドレス（設定ツールで設定したIPアドレス）を設定します。DHCPクライアント機能を有効にした場合、ここで設定したIPアドレスは連動しませんので、再設定してください。
②	ポートの名前です。
③	各プリントジョブでバナーページを印刷する場合は、[ﾊﾞﾅｰを有効にする] ボックスをチェックします。その項目のユーザ名がバナーページに印刷される名前です。（「ﾊﾞﾅｰを有効にする」をチェックした場合、1枚目にET-FPS1の情報が印刷されるようになります。）
④	ET-FPS1プリントサーバが別のジョブを実行中である時に、パソコンがET-FPS1プリントサーバにジョブを再送信するために使用する [ﾘﾄﾗｲ間隔] を設定します。
⑤	デバイス名です。設定は [参照] ボタンをクリックすると、ネットワーク上のET-FPS1プリントサーバが検索され、利用できるET-FPS1が一覧表示されます。

注 意

新規のET-FPS1にプリンタを追加する場合は、上記の「デバイス名」、「ポートの名前」を新たに設定し直してください。

7 印刷に使用するET-FPS1接続のプリンタを選択し、[次へ] ボタンをクリックします。



8 プリンタ名を入力します。[次へ] ボタンをクリックします。

9 これを共有プリンタとするかどうかを選択します。
[次へ] ボタンをクリックします。



10 この設定を終了したときにテストページを印刷するかどうかを選択します。
[完了] ボタンをクリックします。

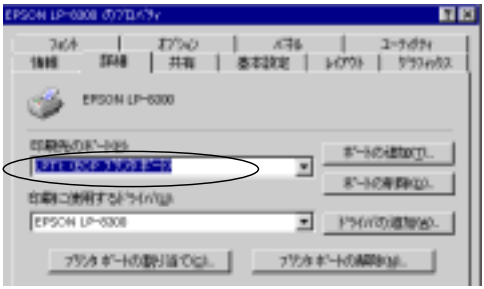
以上でET-FPS1の追加設定は終了です。

4.3.5 ET-FPS1プリンタ・ポートモニタのアンインストール及び再インストール

プリンタ･ポートモニタをアンインストールする場合は必ず以下の手順で行ってください。また、プリンタ･ポートモニタを再インストールする場合は、必ず既にインストールされているプリンタ･ポートモニタを以下の手順に従ってアンインストールしてから再インストールしてください。

1 『ｽﾀｰﾄ』-『設定』-『ﾌﾟﾘﾝﾀ』で印刷先が「ET-FPS1(I-O DATA PTP Port)」のプリンタをダブルクリックします。[ﾌﾟﾘﾝﾀ]メニューの[ﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ]でプリンタのプロパティシートを開き、
Windows98/95の場合は[詳細]タブの[印刷先のﾎﾟｰﾄ]、
WindowsNT4.0の場合は[ﾎﾟｰﾄ]タブの[印刷するポート]
で「LPT1:」に変更して、[OK]をクリックしてください。

画面例）
Windows95の場合



注 意

この変更は「ET-FPS1(I-O DATA PTP Port)」を指定したプリンタすべてに対して行ってください。印刷先を「ET-FPS1(I-O DATA PTP Port)」に指定したプリンタが残った状態でアンインストールを行うと、ET-FPS1(I-O DATA PTP Port)の設定が残ってしまいます。

2 『ｽﾀｰﾄ』-『ﾌﾟﾛｸﾞﾗﾑ』-『PLANT ET-FPS1』-[ｱﾝｲﾝｽﾄｰﾙ]を選択します。
([PLANT ET-FPS1]のところはプリンタ･ポートモニタをインストールした時に指定したプログラムフォルダを選択してください。)
その後、画面に出る指示に従ってアンインストールを実行してください。

3 アンインストール完了のメッセージが表示されたら[OK]をクリックし、パソコンを再起動してください。

第5章 WindowsNTでのLPR

この章では、ET-FPS1をWindowsNTのLPRで使用する方法を説明します。

5.1 WindowsNT4.0でのLPR

WindowsNT4.0でのLPR印刷を行うためには、以下の［5.1.1］でプロトコル及びサービスをインストール後、次ページの［5.1.2］以降でプリンタの設定が必要です。

5.1.1 プロトコル及びサービスの確認

WindowsNT4.0のLPRを使用して、ET-FPS1で印刷を行うためには、次のプロトコル及びサービスをインストールしておく必要があります。

①TCP/IP
②Microsoft TCP/IP
③簡易TCP/IPサービス

■確認方法

1 『ｽﾀｰﾄ』メニューから『設定』→『ｺﾝﾄﾛｰﾙﾊﾟﾈﾙ』→『ﾈｯﾄﾜｰｸ』を選択し、[ﾌﾟﾛﾄｺﾙ]タブをクリックします。

2 「ﾈｯﾄﾜｰｸﾌﾟﾛﾄｺﾙ」にTCP/IPが組み込まれており、IPアドレス等が設定されているか確認してください。
TCP/IPﾌﾟﾛﾄｺﾙが表示されていない場合は、[追加]ボタンをクリックし、TCP/IPﾌﾟﾛﾄｺﾙを組み込み、IPアドレス等の設定を行ってください。

3 [ｻｰﾋﾞｽ]タブをクリックします。

4 ここで、上記の②、③が表示されているか確認してください。表示されていない場合は[追加]ボタンをクリックし、これらをインストールしてください。

5.1.2 ET-FPS1のIPアドレスの設定

次にET-FPS1のIPアドレスの設定を行います。設定は［3.2.5 IOADMIN2による ET-FPS1のIPアドレスの設定方法］(P22) を参照してください。

5.1.3 プリンタの設定

ET-FPS1が接続されているプリンタをWindowsNT4.0から使用できるように、WindowsNT4.0を設定します。

1 『ｽﾀｰﾄ』メニューから『設定』→『ﾌﾟﾘﾝﾀ』を選択し、[ﾌﾟﾘﾝﾀの追加]をダブルクリックすると「ﾌﾟﾘﾝﾀの追加ｳｨｻﾞｰﾄﾞ」画面が表示されます。

2 「このﾌﾟﾘﾝﾀの管理」については、[このｺﾝﾋﾟｭｰﾀ]を選択し、[次へ]ボタンをクリックします。

3 [利用可能なﾎﾟｰﾄ]のところで[ﾎﾟｰﾄの追加]をクリックします。



4 [利用可能なﾌﾟﾘﾝﾀﾎﾟｰﾄ]のところで[LPR Port]を選択します。[LPR Port]が表示されていない場合は、WindowsNT4.0に必要なサービスがインストールされていませんので、［5.1.1］(前ページ)を参照して、必要なサービス及びプロトコルをインストールしてください。



5 [新しいﾎﾟｰﾄ] をクリックします。[LPR互換プリンタの追加]ダイアログボックスが表示されます。ここで、「lpdを提供しているｻｰﾊﾞの名前またはｱﾄﾞﾚｽ」には、ET-FPS1に設定したIPアドレス、「ｻｰﾊﾞのﾌﾟﾘﾝﾀ名またはﾌﾟﾘﾝﾀｷｭｰ名」には以下の書式の様に入力してください。

入力が終了したら[OK]ボタンをクリックします。



［書式］ LPTn.フィルタ1.フィルタ2.フィルタ3.・・・・・

LPTn ： プリンタが接続されているポート、ET-FPS1ではLPT1のみです。

フィルタ ： 以下に示すフィルタを[.] (ピリオド) で区切って設定できます。フィルタはオプションなので、必要がなければ省略可能です。

フィルタ	意味	機能
RAW	RAW	書式なし。グラフィックデータまたは書式付きテキストの印刷用
NL	New Line	各行末にキャリッジリターンを追加
TABS	TABS	タブコードがある時は、文字位置を次の8番目のコラムに移動
NB	No Banner	プリントジョブ開始時のバナーページなし
NT	No Trailer	プリントジョブ終了時のトレーラーページなし
NFF	No Form Feed	プリントジョブ終了時に改ページなし
NCR	No Carriage Return	プリントジョブ終了時にキャリッジリターンを付加しない (行内のプリント終了位置から続けて次のプリントジョブを印刷する)

例） LPT1.NB.NT.NFF

6 プリンタポートの設定画面に戻ります。[閉じる]ボタンをクリックして、「ﾌﾟﾘﾝﾀの追加ｳｨｻﾞｰﾄﾞ」に戻ってください。
設定したポートがチェックされています。[次へ]ボタンをクリックします。



7 プリンタの製造元とモデルを選択し、[次へ]ボタンをクリックします。



8 以降はプリンタウィザードの指示に従って、プリンタの追加を進めてください。

5.1.4 アクセス権の設定

WindowsNT4.0のファイルシステムにNTFSを使用している場合、WindowsNT4.0経由でLPR機能を使用して一般ユーザが印刷を行うには、スプールディレクトリのアクセス権を変更する必要があります。次の手順で変更してください。

1 エクスプローラを起動し、次のフォルダをクリックします。

\WINNT40\system32\spool\PRINTERS

(WindowsNT4.0を \WINNT40 にインストールした場合)

2 [ﾌｧｲﾙ]→[ﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ]→[ｾｷｭﾘﾃｨ]→[ｱｸｾｽ権]の順にメニューを選択し、[EVERYONE]に対する権限を[ﾌﾙｺﾝﾄﾛｰﾙ]にします。

5.1.5 スプールの設定

LPRの場合、印刷データのスプール方法は、[全ﾍﾟｰｼﾞ分のﾃﾞｰﾀをｽﾌﾟｰﾙしてから、印刷ﾃﾞｰﾀをﾌﾟﾘﾝﾀに送る]を選択してください。手順は次のとおりです。

1 該当するプリンタのプロパティを開きます。

2 [ｽｹｼﾞｭｰﾙ]を選択し、[全ﾍﾟｰｼﾞ分のﾃﾞｰﾀをｽﾌﾟｰﾙしてから、印刷ﾃﾞｰﾀをﾌﾟﾘﾝﾀに送る]をチェックします。

3 双方向印刷をサポートしたプリンタを使用する場合は、必ず「双方向印刷をｻﾎﾟｰﾄしない」をチェックしてください。「双方向印刷をｻﾎﾟｰﾄする」をチェックした場合、書き込みエラーとなることがあります。

5.2 WindowsNT3.51でのLPR

WindowsNT3.51でのLPRを行うためには、以下の〔5.2.1〕でプロトコル及びサービスをインストールした後、以下の〔5.2.2〕以降でプリンタの設定が必要です。

5.2.1 プロトコル及びサービスの確認

WindowsNT3.51のLPRを使用して、ET-FPS1で印刷を行うためには、次のプロトコル及びサービスをインストールしておく必要があります。

①TCP/IP
②Microsoft TCP/IP印刷
③簡易TCP/IPサービス

■確認方法

1 『コントロールパネル』→『ネットワーク』を選択します。

2 「組み込まれているネットワークソフトウェア」の中に、上記の①、②、③を確認してください。ない場合は次へ進んでください。

3 [ソフトウェアの追加]をクリックします。

4 [ネットワークソフトウェア]に[TCP/IPプロトコル及び関連コンポーネント]を選択し、[続行]をクリックします。
さらに、[TCP/IPネットワーク印刷サポート]、[簡易TCP/IPサービス]をチェックし[続行]をクリックします。

後は画面の指示に従ってください。

5.2.2 ET-FPS1のIPアドレスの設定

次にET-FPS1のIPアドレスの設定を行います。

設定は〔3.2.5 IOADMIN2によるET-FPS1のIPアドレスの設定方法〕(P22)を参照してください。

5.2.3 プリンタの設定

ET-FPS1に接続されているプリンタを使用できるように、WindowsNT Workstationを設定します。複数のプリンタがET-FPS1に接続されている場合は、接続されているプリンタごとに、設定を行います。

1 『メインプログラムグループ』の[プリントマネージャ]を開きます。

2 [プリントマネージャ]の[プリンタ]メニューに移動し、[プリンタの作成]を選択します。
[プリンタの作成]ダイアログボックスが表示されます。



①[プリンタ名]に、プリンタの名前を入力します。
②[ドライバ]プルダウンリストから、プリンタのタイプに合うプリンタドライバを選択します。
③[説明]テキストボックスにプリンタを識別するための説明を入力します。
④[印刷先]プルダウンリストでリストの下部にある[その他..]を選択します。

3 [印刷先]ダイアログボックスが表示されます。
[印刷先]ダイアログボックスの[利用可能な印刷モニタ]リストで、[LPR Port]を選択し、[OK]をクリックします。



4 **[LPR互換プリンタの追加]ダイアログボックスが表示されます。**
[lpdを提供しているホストの名前またはアドレス]テキストボックスに、ET-FPS1のIPアドレスを入力し、[コンピュータのプリンタ名]テキストボックスには、以下の書式の様に入力します。

入力が終了したら[OK]ボタンをクリックします。



［書式］ LPTn.フィルタ1.フィルタ2.フィルタ3.・・・・・

LPTn ： プリンタが接続されているポート、ET-FPS1ではLPT1のみです。

フィルタ ： 以下に示すフィルタを[.]（ピリオド）で区切って設定できます。フィルタはオプションなので、必要がなければ省略可能です。

フィルタ	意味	機能
RAW	RAW	書式なし。グラフィックデータまたは書式付きテキストの印刷用
NL	New Line	各行末にキャリッジリターンを追加
TABS	TABS	タブコードがある時は、文字位置を次の8番目のコラムに移動
NB	No Banner	プリントジョブ開始時のバナーページなし
NT	No Trailer	プリントジョブ終了時のトレーラーページなし
NFF	No Form Feed	プリントジョブ終了時に改ページなし
NCR	No Carriage Return	プリントジョブ終了時にキャリッジリターンを付加しない（行内のプリント終了位置から続けて次のプリントジョブを印刷する）

例） LPT1.NB.NT.NFF

5 (オプション操作) プリントマネージャの「標準:」プルダウンリストで、設定したプリンタをパソコンのデフォルトプリンタとして選択します。(「標準:」プルダウンリストは、[ｵﾌﾟｼｮﾝ]メニューの[ツールバーの表示]をチェックした場合に表示されます。)

5.2.4 アクセス権の設定

WindowsNT3.51のファイルシステムにNTFSを使用している場合、WindowsNT3.51経由でLPR機能を使用して一般ユーザが印刷を行うには、スプールディレクトリのアクセス権を変更する必要があります。次の手順で変更してください。

1 ファイルマネージャを起動し、次のディレクトリをクリックします。

\WINNT35\system32\spool\PRINTERS

(WindowsNT3.51を \WINNT35 にインストールした場合)

2 [セキュリティー]→[アクセス権]の順にメニューを選択し、[EVERYONE]に対する権限を[フルコントロール]にします。

5.2.5 スプールの設定

LPR印刷の場合、印刷データのスプール方法は、[スプール中にジョブを印刷する]設定にはしないでください。手順は次のとおりです。

1 プリントマネージャを開き、設定するプリンタをクリックし、[プリンタ]→[プリンタ情報]の順に開きます。

2 [詳細]をクリックします。

3 [スプール中にジョブを印刷する]のチェックを外します。その後[ＯＫ]をクリックします。さらに、[ＯＫ]をクリックし、[プリンタ情報]の画面を閉じます。

第6章 NetWare印刷

この章では、ET-FPS1をNetWareサーバ経由で使用する場合の設定方法を説明します。

6.1 設定の概要

ET-FPS1では、NetWareディレクトリサービス (NDS) とNetWareバインダリの両方のネットワークをサポートしています。各ネットワークで、ET-FPS1をプリントサーバモードまたはリモートプリンタモードとして設定します。

各モードでの特徴

	プリントサーバモード	リモートプリンタモード
処理速度	速い	遅い
サーバへの接続数	1台のET-FPS1につき1ユーザ必要	プリントサーバが必要とする接続数のみ
TCP/IPの同時使用*	可能	不可

* ET-FPS1がTCP/IP印刷とNetWareのそれぞれのモードで共存できるかどうかという意味。

注 意

1)ET-FPS1をNetWareに登録するためには、アドミニストレータ権限が必要になります。
2)ダイアルアップルータを使用してIPX/SPXをルーティングしている場合、ET-FPS1はNetWareサーバの情報収集のために定期的(約5分毎)にNetWareサーバへアクセスします。一般公衆網を使用してWAN接続をしている環境で、ET-FPS1をご使用の場合、実際の印刷時以外にNetWareサーバへアクセスするため、この分の回線料金がかかります。そのため、このような環境でのご利用はお勧め致しません。

6.1.1 設定手順の概要

ET-FPS1をNetWare環境で設定する場合、「プリントサーバモード」と「リモートプリンタモード」で設定手順が異なります。
また、NDSとバインダリによっても手順が異なります。
以下を確認して、必要な個所を参照してください。

• プリントサーバモード

プリントサーバモードの場合、以下の3通りの場合があります。

① NetWare 3.xJ及びIntranetWareバインダリモードでのみ使用する場合
　　設定ツールでET-FPS1を設定します。　==> [6.2.1] (P52)参照

② IntranetWare NDSモードでのみ使用する場合
　　NetWare付属のPCONSOLEでプリントサーバ作成後、ET-FPS1設定ツールで
　　ET-FPS1を設定します。　==> [6.2.2] (P58)参照

③ NetWare 3.xJ及びIntranetWare NDSモード両方で使用する場合
　　NetWare付属のPCONSOLEでプリントサーバ作成後、ET-FPS1設定ツールで
　　ET-FPS1を設定します。　==> [6.2.3] (P63)参照

• リモートプリンタモード

リモートプリンタモードの場合、以下の2通りの場合があります。

① NetWare 3.xJで使用する場合
　　NetWare付属のPCONSOLEでプリントサーバ作成後、ET-FPS1設定ツールで
　　ET-FPS1を設定します。　==> [6.3.1] (P69)参照

② IntranetWareで使用する場合
　　NetWare付属のPCONSOLEでプリントサーバ作成後、ET-FPS1設定ツールで
　　ET-FPS1を設定します。　==> [6.3.2] (74)参照


参 考

PCONSOLEは、NetWareに付属のユーティリティです。これを使用すると、NetWareネットワークでの印刷操作に必要なプリンタオブジェクトとプリントキューを作成できます。PCONSOLEの使用方法については、NetWareのマニュアルが参考になります。必要な場合はご覧ください。

6.2 プリントサーバモードの設定

6.2.1 NetWare 3.xJ及びIntranetWareバインダリモードでのみ使用する場合

ここでは、NetWare 3.xJ及びIntranetWareバインダリモードでのみ使用する場合のプリントサーバモードの設定方法について説明します。
設定は、ET-FPS1設定ツールでET-FPS1をNetWareにプリントサーバとして登録します。
また、設定ツールの「IOADMIN2」及び「PSINSTAL」のどちらでも登録できます。
「IOADMIN2」で登録する場合は以下を、「PSINSTAL」で登録する場合はP56を参照してください。

• IOADMIN2によるET-FPS1の設定

1 IOADMIN2を起動します。

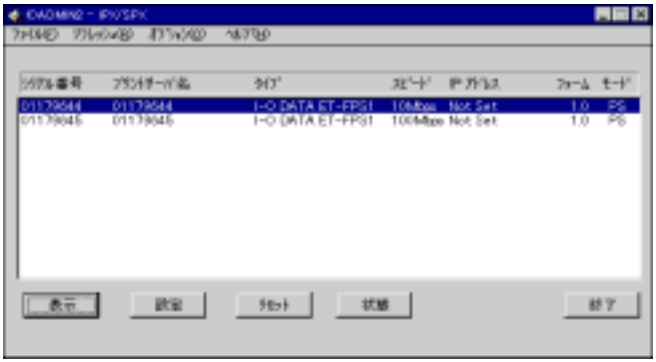
2 使用するプロトコルでは、IPX/SPXを選択します。
[OK]ボタンをクリックします。



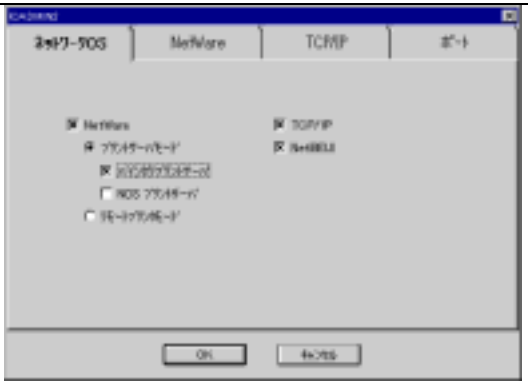
注 意

ご使用の環境でTCP/IPプロトコルが使用されていない場合は、この画面は表示されません。

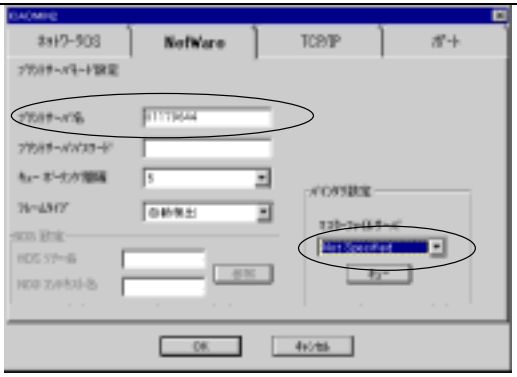
3 設定するET-FPS1を選択して[設定]ボタンをクリックします。



4 「ﾈｯﾄﾜｰｸOS」タブでは、「NetWare」,「ﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾊﾞﾓｰﾄﾞ」,「ﾊﾞｲﾝﾀﾞﾘﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾊﾞ」をチェックし、[OK]ボタンをクリックします。（TCP/IP環境でも使用する場合は、[TCP/IP]もチェックします。）



5 「NetWare」タブをクリックし、「ﾊﾞｲﾝﾀﾞﾘ設定」の「ﾏｽﾀｰﾌｧｲﾙｻｰﾊﾞ」を設定します。同時に「ﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾊﾞ名」も設定します。（初期設定の「ﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾊﾞ名」は、ET-FPS1のシリアル番号です。）
[OK]ボタンをクリックします。



注 意

「ﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾊﾞ名」は半角英数字47文字以内で入力してください。
ただし次の文字は使用できません。
スラッシュ(/),バックスラッシュ(\),コロン(:),セミコロン(;),
カンマ(,),アスタリスク(*),疑問符(?),縦棒(|),プラス(+),等号(=),
ブラケット([ ]),ピリオド(.),2重引用符("),不等号(<>),空白,Ctrl
ただし、ピリオド(.)は名前の1文字目以外であれば使用できます。

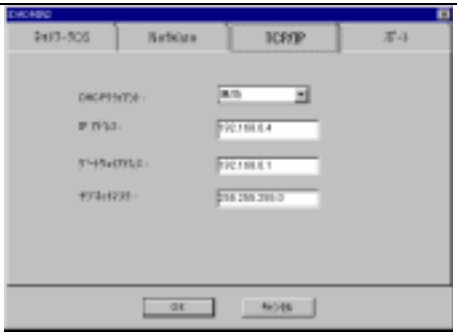
6 「ﾊﾟｲﾝﾀﾞﾘ設定」の「キュー」ボタンをクリックします。
ET-FPS1でサービスするプリントキューを設定します。



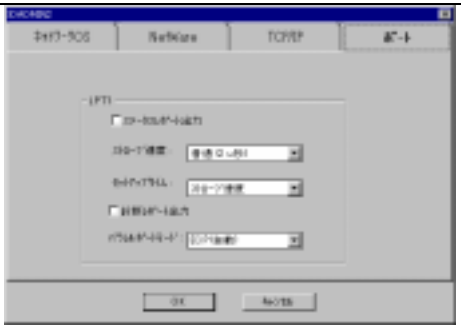
[ﾌｧｲﾙｻｰﾊﾞ]	キューを設定するファイルサーバです。
[新規ｷｭｰ名]	ET-FPS1に割り当てるキューを新しく作成する場合は、名前を入力します。
[ｷｭｰﾘｽﾄ]	既存のキューをET-FPS1に割り当てる場合はここから選択します。

[新規ｷｭｰ名]で新しいキューの名前を入力するか[ｷｭｰﾘｽﾄ]でキューを選択して[追加]をクリックすると、キューの優先度を入力するダイアログボックスが表示されます。
優先度を入力して[OK]ボタンをクリックすると画面に
ET-FPS1に割り当てるキューがリストアップされます。
キューの設定を取り消したい場合は、リストから選択して[削除]ボタンをクリックします。
キューは最大32個まで設定できます。設定後[OK]ボタンをクリックします。

7 TCP/IP環境でも使用する場合は、「TCP/IP」タブをクリックします。[IPｱﾄﾞﾚｽ]と必要に応じて[ﾙｰﾀｱﾄﾞﾚｽ][ｻﾌﾞﾈｯﾄﾏｽｸ]を入力します。（DHCPｻｰﾊﾞが存在する場合は、[DHCPｸﾗｲｱﾝﾄ]を「有効」に設定するだけです。）



8 「ﾎﾟｰﾄ」の設定を行う場合は、「ﾎﾟｰﾄ」タブをクリックし、各設定を行います。



[ｽﾃｰﾀｽﾚﾎﾟｰﾄ出力]	ET-FPS1起動時,リセット時,設定変更時にステータス（ET-FPS1の状態）レポートを印刷するかどうかの指定です。
[ｽﾄﾛｰﾌﾞ速度]	ET-FPS1のストローブ信号の幅を設定します。初期設定では、中間の2μ秒に設定されています。
[ｾｯﾄｱｯﾌﾟﾀｲﾑ]	パラレルポートのBUSY信号からストローブ信号までの時間を設定します。ストローブ信号の値と同一以上でなければなりません。
[診断ﾚﾎﾟｰﾄ出力]	Netare環境において、ネットワークまたはハードウェア関連の障害が発生した時に診断レポートを印刷するかどうかの指定です。
[ﾊﾟﾗﾚﾙﾎﾟｰﾄﾓｰﾄﾞ]	パラレルモードのモード（ECP、Nibble、Compatibility）を指定します。

すべて設定後、[OK]ボタンをクリックします。設定した内容は[表示]ボタン（手順3の画面）で確認できます。
以上で設定は終了です。[終了]ボタンでIOADMIN2を終了します。

• PSINSTALによるET-FPS1の設定

1 NetWareに管理者権限でログインします。

2 PSINSTALを起動します。
例） C:\>PSINSTAL・ （下線部入力：PSINSTALをC:\にｲﾝｽﾄｰﾙした場合）

3 最初に以下のメッセージが表示されます。

```
Do you want to install ET-FPS1 on IO_SRV,
and do you have supervisor privilege on this file server? [Y/N]:
```

（ET-FPS1をファイルサーバ(上記例ではIO_SRV)にインストールを実行しますか。このファイルサーバに管理者権限でログインしますか?(Y/N)）

[Y]キーを押します。

4 次に以下のメッセージが表示されます。

```
The eight-digit serial number is printed on a label on the unit.
Enter the ET-FPS1 serial number:
```

（ET-FPS1のシリアル番号をここで入力してください。）

ネットワーク接続時に記録しておいたET-FPS1のシリアル番号を入力します。

5 次に以下のメッセージが表示されます。

```
Is this correct? [Y/N]:
```

（正しいですか?(Y/N)）

[Y]キーを押します。

6 次に以下のメッセージが表示されます。

```
Enter the print server name (Current name: XXXXXXXX):
```

（プリントサーバ名を入力してください。現在の名前は、XXXXXXXXです。）

プリントサーバ名を入力します。
何も入力せずに・キーを押すと、現在の名前がそのまま設定されます。

注 意

「ﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾊﾞ名」は半角英数字47文字以内で入力してください。
ただし次の文字は使用できません。
スラッシュ(/),バックスラッシュ(\),コロン(:),セミコロン(;),
カンマ(,),アスタリスク(*),疑問符(?),縦棒(|),プラス(+),等号(=),
ブラケット([ ]),ピリオド(.),2重引用符("),不等号(<>),空白,Ctrl
ただし、ピリオド(.)は名前の1文字目以外であれば使用できます。

7 次に以下のメッセージが表示されます。

```
Is this the correct name? [Y/N]:
```

(この名前で正しいですか?(Y/N))

[Y]キーを押します。

8 次に以下のメッセージが表示されます。

```
Is IO_SRV the master file server for PS-IODATA? [Y/N]:
```

((ファイルサーバ名)を(プリントサーバ名)のマスタファイルサーバにしますか?(Y/N))

[Y]キーを押します。

9 次に以下のメッセージが表示されます。

```
If no additonal file servers are to be served, press <ENTER>.
File server name:
```

(これ以上ファイルサーバを追加しない時は、・キーを押してください。
ファイルサーバ名を入力してください)

ファイルサーバ名を入力するか、・キーだけを押します。
(ファイルサーバ名を入力した場合は、入力したファイルサーバ名がマスタファイルサーバ名に続いて表示され、再度ファイルサーバ名の入力待ちとなります。
・キーだけを入力した場合は、次のメッセージが表示されます。)

10 次に以下のメッセージが表示されます。

```
Enter the queue name:
```

(キューの入力を終了する時には、・キーだけを押してください。
キュー名 (ポート名) を入力してください)

設定するキュー名を入力するか、・キーだけを押します。
(キュー名を正しく入力した場合は、次のキュー名の入力待ちとなります。
・キーだけを入力した場合は、ここまでの操作で設定した内容が表示されます。表示は現在作業しているファイルサーバの種類によって異なります。)

11 [Y]キーを押します。ET-FPS1に設定されます。

```
- Print server installation is complete.
```

以上で設定終了です。

6.2.2 IntranetWare NDSモードでのみ使用する場合

ここでは、NetWareディレクトリサービス (NDS) でET-FPS1をプリントサーバとして使用する場合のプリントサーバモードの設定方法について説明します。
以下の［・ NetWareの設定］での設定後、ET-FPS1設定ツールでの設定が必要です。

• NetWareの設定 (PCONSOLEでの設定)

1 NetWareに管理者権限でログインします。

2 PCONSOLEを起動します。起動したら、NDSのモードになっている事を確認します。
([F4]キーでNDSとバインダリモードが切り替わります。)

3 ET-FPS1をインストールしたいNDSコンテキストに変更します。
［利用可能な項目］から［ｺﾝﾃｷｽﾄの変更］を選択します。(NDSの現在のコンテキストは、PCONSOLE画面の左上隅に表示されています。)
表示されるメニューから、ET-FPS1をインストールしたいコンテキストを選択します。コンテキスト名は、後で参照できるように何かにメモしておいてください。ET-FPS1の設定作業時に、この情報が必要になります。

参照

コンテキストの設定については、必要に応じてNetWareのマニュアルをご覧ください。

4 ［ｸｲｯｸｾｯﾄｱｯﾌﾟ］を選択します。［ﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾋﾞｽｸｲｯｸｾｯﾄｱｯﾌﾟ］画面が表示されます。次の各項目に値を入力または選択してください。

プリントサーバの名前	工場出荷時のままの状態ではET-FPS1のシリアル番号を設定します。
プリンタタイプ	パラレル
位置	自動ロード (ローカル)
割り込み	なし (ポーリングモード)
ポート	LPT1

5 入力が終了したら[F10]キーで保存します。

6 他のポートの設定を行う場合、キュー,プリンタを追加する場合は手順4,5を繰り返してください。

次にET-FPS1設定ツールでET-FPS1への設定を行います。
設定ツールは「IOADMIN2」及び「IOCONF2」のどちらでも登録できます。
「IOADMIN2」で登録する場合は以下を、「IOCONF2」で登録する場合はP62を参照してください。

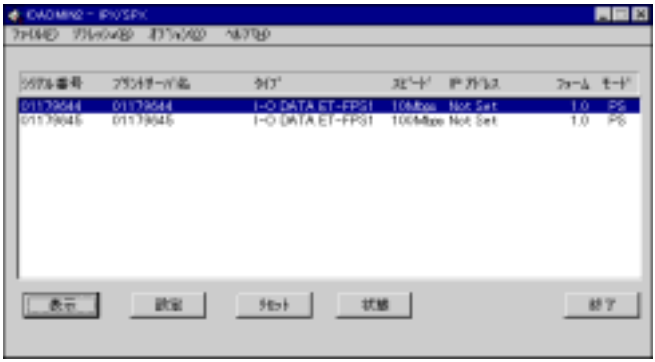
• IOADMIN2によるET-FPS1の設定

1 IOADMIN2を起動します。

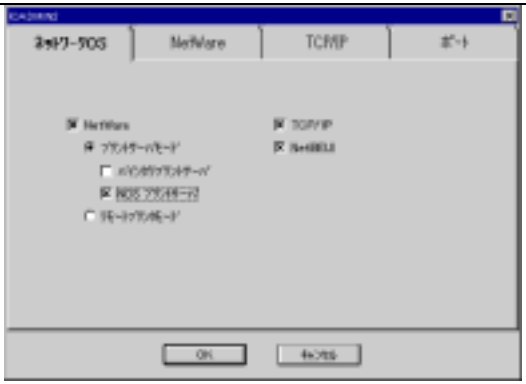
2 使用するプロトコルでは、「IPX/SPX」を選択します。
[OK]ボタンをクリックします。
（ご使用の環境でTCP/IPプロトコルが使用されていない場合は、この画面は表示されません。）



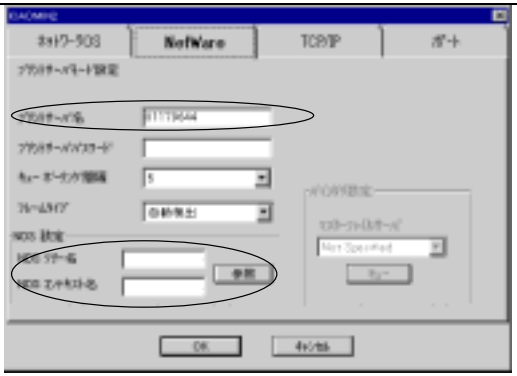
3 設定するET-FPS1を選択して[設定]ボタンをクリックします。



4 「ﾈｯﾄﾜｰｸOS」タブでは、「NetWare」,「ﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾊﾞﾓｰﾄﾞ」,「NDS ﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾊﾞ」をチェックし、[OK]ボタンをクリックします。(TCP/IP環境でも使用する場合は、[TCP/IP]もチェックします。)



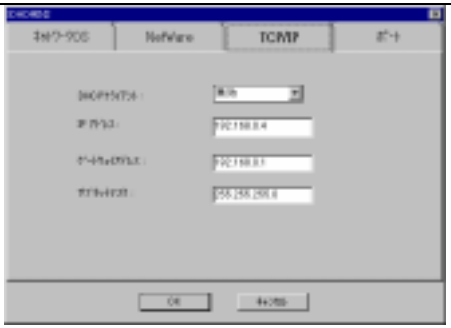
5 「NetWare」タブをクリックし、「ﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾊﾞ名」を入力します。(「ﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾊﾞ名」はPCONSOLEでの設定P58の手順4で設定したプリントサーバ名)
設定後、[OK]ボタンをクリックします。



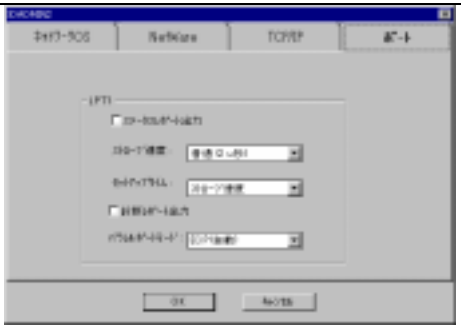
注 意

NDSプリントサーバを設定する「NDSﾂﾘｰ名」「ｺﾝﾃｷｽﾄ名」を指定できます。([参照]ボタンで参照できます。)
ただし、そのツリーに対してログインしている必要があります。

6 TCP/IP環境でも使用する場合は、「TCP/IP」タブをクリックします。[IPｱﾄﾞﾚｽ]と必要に応じて[ﾙｰﾀｱﾄﾞﾚｽ][ｻﾌﾞﾈｯﾄﾏｽｸ]を入力します。（DHCPｻｰﾊﾞが存在する場合は、[DHCPｸﾗｲｱﾝﾄ]を「有効」に設定するだけです。）



7 「ﾎﾟｰﾄ」の設定を行う場合は、「ﾎﾟｰﾄ」タブをクリックし、各設定を行います。



[ｽﾃｰﾀｽﾚﾎﾟｰﾄ出力]	ET-FPS1起動時,リセット時,設定変更時にステータス（ET-FPS1の状態）レポートを印刷するかどうかの指定です。
[ｽﾄﾛｰﾌﾞ速度]	ET-FPS1のストローブ信号の幅を設定します。初期設定では、中間の2μ秒に設定されています。
[ｾｯﾄｱｯﾌﾟﾀｲﾑ]	パラレルポートのBUSY信号からストローブ信号までの時間を設定します。ストローブ信号の値と同一以上でなければなりません。
[診断ﾚﾎﾟｰﾄ出力]	Netare環境において、ネットワークまたはハードウェア関連の障害が発生した時に診断レポートを印刷するかどうかの指定です。
[ﾊﾟﾗﾚﾙﾎﾟｰﾄﾓｰﾄﾞ]	パラレルモードのモード（ECP、Nibble、Compatibility）を指定します。

すべて設定後、[OK]ボタンをクリックします。設定した内容は[表示]ボタン（手順3の画面）で確認できます。
以上で設定は終了です。[終了]ボタンでIOADMIN2を終了します。

• IOCONF2によるET-FPS1の設定

1 NetWareに管理者権限でログインします。

2 以下の様に入力します。

```
IOCONF2　シリアル番号　N=E　TREE=ディレクトリツリー名
　　CX=コンテキスト名　NN=プリントサーバ名 SHOW
```

TREEには、作成したプリントサーバにあるディレクトリ名
CXには、作成したプリントサーバにあるコンテキスト名
NNには、作成したプリントサーバの名前にシリアル番号以外の名前を指定していた場合に、作成した名前を指定

```
例）IOCONF2　01101234　N=E　TREE=IODATA　CX=LP.NP　SHOW
```

3 コマンド実行後、設定内容が画面に表示されます。
設定内容を確認したら、次のコマンドでET-FPS1をリセットします。

```
IOCONF2　シリアル番号　N=E　RESET
```

以上でET-FPS1の設定は終了です。正常に起動すると、ET-FPS1がNDSツリーへログインします。ファイルサーバのモニタ画面の「接続情報」で確認できます。
また、ET-FPS1から出力される構成レポートによっても確認できます。

6.2.3 NetWare 3.xJ及びIntranetWare NDSモード両方で使用する場合

ここでは、NetWare 3.xJ及びIntranetWare NDSモード両方で使用する場合のプリントサーバモードの設定方法について説明します。

以下の［・ NetWareの設定］での設定後、ET-FPS1設定ツールでの設定が必要です。

• NetWareの設定（PCONSOLEでの設定）

1 NetWareに管理者権限でログインします。

2 PCONSOLEを起動します。

3 ET-FPS1をインストールしたいNDSコンテキストに変更します。

［利用可能な項目］から［ｺﾝﾃｷｽﾄの変更］を選択します。（NDSの現在のコンテキストは、PCONSOLE画面の左上隅に表示されています。）

表示されるメニューから、ET-FPS1をインストールしたいコンテキストを選択します。

コンテキスト名は、後で参照できるように何かにメモしておいてください。ET-FPS1の設定作業時に、この情報が必要になります。

参照

コンテキストの設定については、必要に応じてNetWareのマニュアルをご覧ください。

4 ［ｸｲｯｸｾｯﾄｱｯﾌﾟ］を選択します。［ﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾋﾞｽｸｲｯｸｾｯﾄｱｯﾌﾟ］画面が表示されます。次の各項目に値を入力または選択してください。

プリントサーバの名前	工場出荷時のままの状態ではET-FPS1のシリアル番号を設定します。
プリンタタイプ	パラレル
位置	自動ロード（ローカル）
割り込み	なし（ポーリングモード）
ポート	LPT1

5 入力が終了したら[F10]キーで保存します。

6 他のポートの設定を行う場合、キュー,プリンタを追加する場合は手順4,5を繰り返してください。

次に設定ツールでET-FPS1への設定を行います。
設定ツールは「IOADMIN2」及び「PSINSTALとIOCONF2」のどちらでも登録できます。
「IOADMIN2」で登録する場合は以下を、「PSINSTALとIOCONF2」で登録する場合はP68を参照してください。

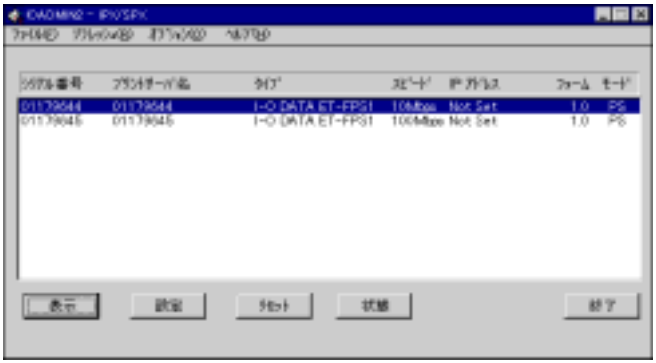
• IOADMIN2によるET-FPS1の設定

1 IOADMIN2を起動します。

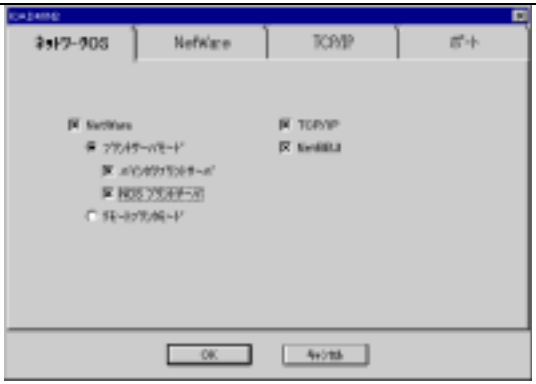
2 使用するプロトコルでは、IPX/SPXを選択します。
[OK]ボタンをクリックします。（ご使用の環境でTCP/IPプロトコルが使用されていない場合は、この画面は表示されません。）



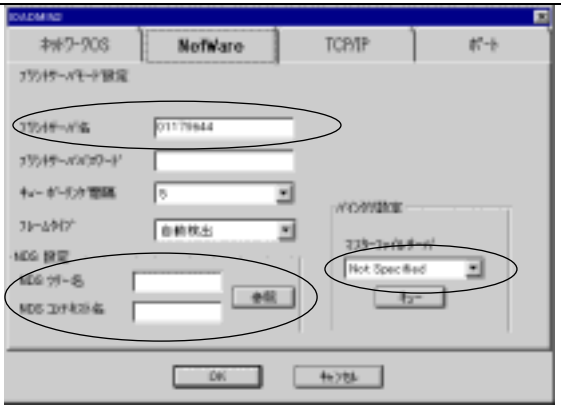
3 設定するET-FPS1を選択して[設定]ボタンをクリックします。



4 「ﾈｯﾄﾜｰｸOS」タブでは、「NetWare」,「ﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾊﾞﾓｰﾄﾞ」,「ﾊﾞｲﾝﾀﾞﾘﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾊﾞ」,「NDSﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾊﾞ」をチェックし、[OK]ボタンをクリックします。（TCP/IP環境でも使用する場合は、[TCP/IP]もチェックします。）



5 「NetWare」タブをクリックし、「ﾊﾞｲﾝﾀﾞﾘ設定」の「ﾏｽﾀｰﾌｧｲﾙｻｰﾊﾞ」を設定します。同時に「ﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾊﾞ名」も設定します。（「ﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾊﾞ名」はPCONSOLEでの設定P63の手順4で設定したプリントサーバ名）
設定後、[OK]ボタンをクリックします。



注 意

1)NDSプリントサーバを設定する「NDSﾂﾘｰ名」「ｺﾝﾃｷｽﾄ名」を指定できます。（[参照]ボタンで参照できます。）
ただし、そのツリーに対してログインしている必要があります。
2)「ﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾊﾞ名」は半角英数字47文字以内で入力してください。
ただし次の文字は使用できません。
スラッシュ(/),バックスラッシュ(\),コロン(:),セミコロン(;),
カンマ(,),アスタリスク(*),疑問符(?),縦棒(|),プラス(+),等号(=),
ブラケット([ ]),ピリオド(.),2重引用符("),不等号(<>),空白,Ctrl
ただし、ピリオド(.)は名前の1文字目以外であれば使用できます。

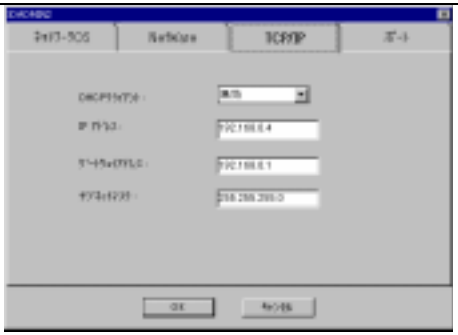
6 「ﾊﾟｲﾝﾀﾞﾘ設定」の「キュー」ボタンをクリックします。
ET-FPS1でサービスするプリントキューを設定します。



[ﾌｧｲﾙｻｰﾊﾞ]	キューを設定するファイルサーバです。
[新規ｷｭｰ名]	ET-FPS1に割り当てるキューを新しく作成する場合は、名前を入力します。
[ｷｭｰﾘｽﾄ]	既存のキューをET-FPS1に割り当てる場合はここから選択します。

[新規ｷｭｰ名] で新しいキューの名前を入力するか [ｷｭｰﾘｽﾄ] でキューを選択して [追加] をクリックすると、キューの優先度を入力するダイアログボックスが表示されます。
優先度を入力して[OK]ボタンをクリックすると画面にET-FPS1に割り当てるキューがリストアップされます。
キューの設定を取り消したい場合は、リストから選択して[削除]ボタンをクリックします。
キューは最大32個まで設定できます。設定後[OK]ボタンをクリックします。

7 TCP/IP環境でも使用する場合は、「TCP/IP」タブをクリックします。[IPｱﾄﾞﾚｽ]と必要に応じて[ﾙｰﾀｱﾄﾞﾚｽ][ｻﾌﾞﾈｯﾄﾏｽｸ]を入力します。（DHCPｻｰﾊﾞが存在する場合は、[DHCPｸﾗｲｱﾝﾄ]を「有効」に設定するだけです。）



8 「ﾎﾟｰﾄ」の設定を行う場合は、「ﾎﾟｰﾄ」タブをクリックし、各設定を行います。



[ｽﾃｰﾀｽﾚﾎﾟｰﾄ出力]	ET-FPS1起動時,リセット時,設定変更時にステータス（ET-FPS1の状態）レポートを印刷するかどうかの指定です。
[ｽﾄﾛｰﾌﾞ速度]	ET-FPS1のストローブ信号の幅を設定します。初期設定では、中間の2μ秒に設定されています。
[ｾｯﾄｱｯﾌﾟﾀｲﾑ]	パラレルポートのBUSY信号からストローブ信号までの時間を設定します。ストローブ信号の値と同一以上でなければなりません。
[診断ﾚﾎﾟｰﾄ出力]	Netare環境において、ネットワークまたはハードウェア関連の障害が発生した時に診断レポートを印刷するかどうかの指定です。
[ﾊﾟﾗﾚﾙﾎﾟｰﾄﾓｰﾄﾞ]	パラレルモードのモード（ECP、Nibble、Compatibility）を指定します。

すべて設定後、[OK]ボタンをクリックします。設定した内容は[表示]ボタン（手順**3**の画面）で確認できます。
以上で設定は終了です。[終了]ボタンでIOADMIN2を終了します。

・ PSINSTALとIOCONF2によるET-FPS1の設定

PSINSTALとIOCONF2での設定で行います。

PSINSTALの設定の詳細は〔6.2.1〕の〔・ PSINSTALによるET-FPS1の設定〕(P56)を参照してください。

次にIOCONF2の設定を行います。

設定の詳細は〔6.2.2〕の〔・ IOCONF2によるET-FPS1の設定〕(P62)を参照してください。

以上でET-FPS1の設定は終了です。

6.3 リモートプリンタモードの設定

6.3.1 NetWare 3.xJで使用する場合

ここでは、NetWare 3.xJでET-FPS1をリモートプリントサーバとして使用する場合の設定方法について説明します。
以下の［・ NetWareの設定］での設定後、ET-FPS1設定ツールでの設定が必要です。

• NetWareの設定（PCONSOLEでの設定）

1. NetWareに管理者権限でログインします。
2. PCONSOLEを起動します。
3. [プリントサーバ情報]メニューを選択し、ET-FPS1を動作させるプリントサーバを選択します。新規にプリントサーバを作成する場合は、[Insert]キーで新しいプリントサーバ名を入力してから・キーを押します。
4. [プリントサーバ構成メニュー]の[プリンタの構成]を選択します。
5. ET-FPS1のポートを割り付けるプリンタ番号を選択します。
   [プリンタ#の構成]画面（#は選択したプリンタ番号）が表示されます。
6. プリンタタイプを[リモートパラレル,LPT1]に設定します。
7. [Esc]キーを一回押して変更結果を保存します。
   他のET-FPS1ポートを割り付ける場合は、手順5～7を繰り返します。
8. [Esc]キーを押します。
   [プリントサーバ構成メニュー]の[プリンタでサービスされているキュー]を選択します。

9 [定義済みのプリンタ]の中から、ET-FPS1のポートを割り付けるプリンタを選択してキューを割り付けます。

10 PCONSOLEを終了し、設定したプリントサーバを再起動します。

次に設定ツールでET-FPS1への設定を行います。
設定ツールは「IOADMIN2」及び「IOCONF2」のどちらでも登録できます。「IOADMIN2」で登録する場合は以下を、「IOCONF2」で登録する場合はP73を参照してください。

• IOADMIN2によるET-FPS1の設定

注 意

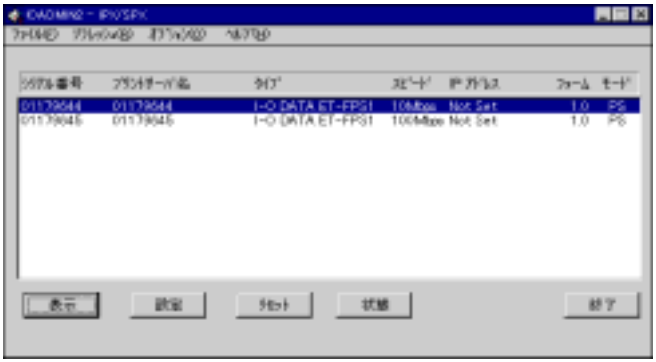
PC-9800シリーズのWindowsNT4.0/3.51では、IOADMIN2を使用してリモートプリンタの設定を行うことはできません。NetWare 3.xJ/4.xJ環境のどちらでも行えません。
（PC-9800シリーズのWindows98/95で設定を行うか、またはPC98-NXシリーズ及びDOS/Vマシンで設定を行ってください。）

1 IOADMIN2を起動します。

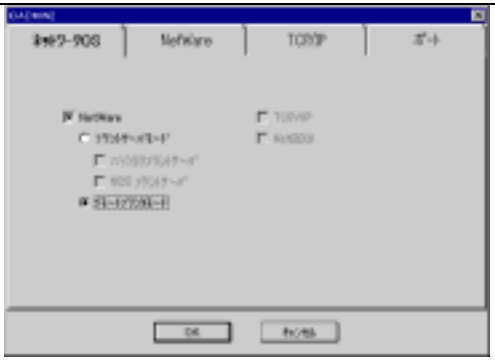
2 使用するプロトコルでは、
IPX/SPXを選択します。
[OK]ボタンをクリックします。
（ご使用の環境でTCP/IPプロトコルが使用されていない場合は、この画面は表示されません。）



3 設定するET-FPS1を選択して[設定]ボタンをクリックします。



4 「ﾈｯﾄﾜｰｸOS」タブでは、「NetWare」,「ﾘﾓｰﾄﾌﾟﾘﾝﾀﾓｰﾄﾞ」をチェックし、[OK]ボタンをクリックします。



5 リモートプリンタとして使用するプリントサーバを選択します。
また、ET-FPS1に割り当てるプリンタ番号を選択します。
[OK]ボタンをクリックします。



6 「ﾎﾟｰﾄ」の設定を行う場合は、「ﾎﾟｰﾄ」タブをクリックし、各設定を行います。



[ｽﾃｰﾀｽﾚﾎﾟｰﾄ出力]	ET-FPS1起動時,リセット時,設定変更時にステータス（ET-FPS1の状態）レポートを印刷するかどうかの指定です。
[ｽﾄﾛｰﾌﾟ速度]	ET-FPS1のストローブ信号の幅を設定します。初期設定では、中間の2μ秒に設定されています。
[ｾｯﾄｱｯﾌﾟﾀｲﾑ]	パラレルポートのBUSY信号からストローブ信号までの時間を設定します。ストローブ信号の値と同一以上でなければなりません。
[診断ﾚﾎﾟｰﾄ出力]	Netare環境において、ネットワークまたはハードウェア関連の障害が発生した時に診断レポートを印刷するかどうかの指定です。
[ﾊﾟﾗﾚﾙﾎﾟｰﾄﾓｰﾄﾞ]	パラレルモードのモード（ECP、Nibble、Compatibility）を指定します。

すべて設定後、[OK]ボタンをクリックします。設定した内容は[表示]ボタン（手順3の画面）で確認できます。

以上で設定は終了です。[終了]ボタンでIOADMIN2を終了します。

・ IOCONF2によるET-FPS1の設定

1 NetWareに管理者権限でログインします。

2 以下の様に入力します。

```
IOCONF2　シリアル番号　N=E　MODE=RP+プリントサーバ名+
                                    port_num
```

MODEオプションの
RPとはリモートプリンタモードに指定します。
port_numはET-FPS1のLPT1に割り付けるプリンタ番号（NetWare 3.xJでは
0～15）を指定します。このプリンタ番号のプリンタのタイプ
は、NetWare 3.xJの場合「リモートパラレル,LPT1」に指定され
ている必要があります。

例えば、PCONSOLEで以下の条件に設定したプリントサーバに、ET-FPS1をリモート
プリンタとしてインストールする時の書式は次の通りです。

・ET-FPS1のシリアル番号　：XXXXXXXX
・ネットワークタイプ　：イーサネット
・プリントサーバ名　：PSERVE
・接続するプリンタ番号　：0

```
例）IOCONF2　XXXXXXXX　N=E　MODE=RP+PSERVE+0
```

3 コマンド実行後、設定内容が画面に表示されます。
設定内容を確認したら、次のコマンドでET-FPS1をリセットします。

```
IOCONF2　シリアル番号　N=E　RESET
```

以上でET-FPS1の設定は終了です。

6.3.2 IntranetWareで使用する場合

ここでは、IntranetWareで使用する場合のリモートプリントサーバとしての設定方法について説明します。

以下の［・　NetWareの設定］での設定後、ET-FPS1設定ツールでの設定が必要です。

・ NetWareの設定（PCONSOLEでの設定）

1 NetWareに管理者権限でログインします。

2 PCONSOLEを起動します。起動したら、NDSのモードになっている事を確認します。
（[F4]キーでNDSとバインダリモードが切り替わります。）

3 ET-FPS1をインストールしたいNDSコンテキストに変更します。
［利用可能な項目］から［ｺﾝﾃｷｽﾄの変更］を選択します。（NDSの現在のコンテキストは、PCONSOLE画面の左上隅に表示されています。）
表示されるメニューから、ET-FPS1をインストールしたいコンテキストを選択します。
コンテキスト名は、後で参照できるように何かにメモしておいてください。ET-FPS1の設定作業時に、この情報が必要になります。


参照

コンテキストの設定については、必要に応じてNetWareのマニュアルをご覧ください。

4 ［ｸｲｯｸｾｯﾄｱｯﾌﾟ］を選択します。［ﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾋﾞｽｸｲｯｸｾｯﾄｱｯﾌﾟ］画面が表示されます。次の各項目に値を入力または選択してください。

プリントサーバの名前	プリントサーバの名前を入力します。
プリンタタイプ	パラレル
位置	手動ロード（リモート）
割り込み	なし（ポーリングモード）
ポート	LPT1

5 入力が終了したら[F10]キーで保存します。

6 キュー,プリンタを追加する場合は手順4,5を繰り返してください。

7 プリントサーバを起動します。起動方法の詳細についてはIntranetWareのマニュアルを参照してください。

次に設定ツールでET-FPS1への設定を行います。
設定ツールは「IOADMIN2」及び「IOCONF2」のどちらでも登録できます。
「IOADMIN2」での設定の詳細は〔6.3.1〕の〔・ IOADMIN2によるET-FPS1の設定〕(P70)を参照してください。
「IOCONF2」での設定の詳細は〔6.3.1〕の〔・ IOCONF2によるET-FPS1の設定〕(P73)を参照してください。

以上でET-FPS1の設定は終了です。

6.4 NetWare関連情報

ここでは、NetWare環境でET-FPS1を使用する際の印刷について説明します。NetWareプリントサーバのインストールと管理について、より詳細な情報が必要な場合は、NetWareのマニュアル類をご覧ください。

プリントサーバとリモートプリンタのどちらの設定でインストールされた場合でも、ET-FPS1では、NetWareの標準的な印刷ユーティリティがすべてサポートされています。NetWareで最も一般的な印刷ユーティリティについて、次に紹介します。

■NPRINT

NPRINTは、ファイルをプリンタまたはキューへと送信するものです。
標準的な構文を次に示します。

NPRINT ファイル名 [P=プリンタ名 ¦ Q=キュー名] [オプション]

例えば、パソコン上のAUTOEXEC.BATファイルを、バナーも改ページもなしにキュー(TECH-PUBS)に出力する場合は、次のようになります。

```
nprint c:\autoexec.bat q=tech-pubs nb nff
```

次のように一切オプションを付けずにNPRINTを使用すると、構文の詳細とオプション一覧が表示されます。

```
nprint
```

■CAPTURE

CAPTUREは、パソコンのパラレルポート（LPT）からの印刷ジョブをNetWareプリンタまたはプリントキューへと振り向けるものです。いったんCAPTUREコマンドを実行すると、それ以降の印刷ジョブはすべて指定されたNetWareプリンタまたはプリントキューへと送信されます。CAPTUREコマンドの効力は、再度CAPTUREコマンドを実行するかパソコンを再起動するまで継続します。標準的な構文を次に示します。

CAPTURE [P=プリンタ名 ¦ Q=キュー名] [L=1または LPT1] [オプション]

例えば、LPT1ポートからの印刷ジョブを、バナーも改ページもなしにキューMARKETINGに振り向ける場合は、次のようになります。

```
capture q=marketing L=1 nb nff
```

次のように「/?」オプションを付けてCAPTUREを呼び出すと、構文の詳細とオプション一覧が表示されます。

```
capture /?
```

付録 1 困った時には

● ハードウェアでのトラブル

LEDが点滅したままになる。

対処 ET-FPS1のデバイスのリセット、または電源を入れ直してリセットしてください。

IOADMIN2でET-FPS1が見えない。

対処 IOADMIN2の接続プロトコルと、ET-FPS1のサポートプロトコルが一致しているか確認してください。

対処 ET-FPS1が同じセグメントに接続されているか確認してください。

原因 必要なプロトコル及びサービスがインストールされていない。

対処 【3.2.2 設定ツールの必要ネットワーク環境】(P19)を参照して、必要なプロトコル及びサービスをインストールしてください。

原因 ET-FPS1とお使いのパソコンの間にルータを介している。

対処 ルータを使用しない方法で接続してください。

IOADMIN2の設定やステータスがグレー表示になり使用不可になる。

対処 プリンタがビジー状態のときは、使用できません。プリンタがアイドル状態に戻るまでお待ちください。

● Windows環境でご使用の場合

あるアプリケーションの印刷の処理に非常に時間がかかり出力結果が正しくない。

原因 アプリケーション、プリンタのスプール命令、"1ページ目のデータをスプールしたら、印刷データをプリンタに送る。"をサポートしていない場合に、しばしば発生します。

対処 次の手順で、このオプションを使用不可にしてください。

1.『ｺﾝﾄﾛｰﾙﾊﾟﾈﾙ』→『ﾌﾟﾘﾝﾀ』をダブルクリックします。
2.問題が発生するプリンタを選択します。
3.「ﾌｧｲﾙ」メニュー→「ﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ」を選択します。
4.「詳細」タブ→[ｽﾌﾟｰﾙの設定]ボタンをクリックします。
5.「全ページ分のデータをスプールしてから、印刷データをプリンタに送る」のチェックを解除し、[OK] ボタンをクリックします。

Windows98/95でET-FPS1を追加しようとすると、「プリンタが見つからない」というメッセージが表示される。

原因 一部のシステムでは、ローカルプリンタを選択するとプリンタドライバによってプリンタがポーリングされ、処理を完了する前にプリンタがコンピュータに接続されているかどうかを調べられます。プリンタはコンピュータではなくET-FPS1プリントサーバに接続されているので、システムは障害を記録し、「プリンタが見つからない」というメッセージを発行します。

対処 メッセージが表示されたら、[ネットワークプリンタ] を選択してプリンタを追加します。ネットワークプリンタを追加するには、以下の操作を行います。

1.プリンタウィザードを起動し、[ネットワークプリンタ] を選択します。
2.[ネットワークパスまたは印刷キュー] テキストボックスに、次のように入力します。
\\54321
3.[次へ] ボタンをクリックします。
4.プリンタウィザードから表示されるオフラインについてのメッセージは無視してプリンタの追加を終了します。
5.インストールが終了したら、[プリンタ] フォルダを開きます。
インストールしたプリンタのアイコンが、現在そのプリンタは使用できないことを示すグレーで表示されているのが確認できます。
6.プリンタのアイコンを選択して、[ﾌｧｲﾙ] メニューの [ﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ] を選択します。
7.[詳細] タブを選択します。
8.[印刷先のポート] テキストボックスの矢印をクリックして、
[ET-FPS1] を選択し、[OK] ボタンをクリックします。
9.[ﾌｧｲﾙ] メニューの [ｵﾌﾗｲﾝ作業] オプションを非選択にします。

これでプリンタポートがアクティブになります。

説明のとおりにWindows98/95でプリンタを接続して設定したが、印刷できない。

原因 WPS(Windows Printing System)方式のプリンタは双方向通信機能をオフにすることができないため、本製品にWPS方式のプリンタを接続した状態での動作は保証できません。
以下は、一般的なWPSプリンタの一覧です。

- Canon LBP-430W
- Epson ActionLaser 1300/W
- Epson EPL-5500/W
- HP LaserJet 5L
- Lexmark WinWriter 100/200/400/600
- NEC SuperScriptシリーズ
- Olivetti PG304
- Samsung MyLaser-4/5/6

設定ツール画面で、目的のET-FPS1が表示されない。

原因 必要なプロトコル及びサービスがインストールされていない。
対処 【3.2.2 設定ツールの必要ネットワーク環境】(P19)を参照して必要なプロトコル及びサービスをインストールしてください。

原因 ET-FPS1に電源が入っていない。
対処 ET-FPS1の電源を入れてください。

原因 ET-FPS1がネットワークに接続されていない。
対処 ET-FPS1の接続を確認してください。

TCP/IPで使用中に、設定ツール画面でIPアドレスを入力しても反応がない。

原因 TCP/IPプロトコルがインストールされていない。
対処 【3.2.2 設定ツールの必要ネットワーク環境】(P19)を参照して必要なプロトコル及びサービスをインストールしてください。

原因 IPアドレスが割り当てられていない。
対処 IPアドレスの設定を行ってください。

EPSON MJ-1050,MJ-3000C,MJ-5000C,MJ-5100C,MJ-510C,MJ-6000C,MJ-8000C, MJ-800C,MJ-810C,MJ-830C,MJ-900C,MJ-910C,MJ-930C,PM-700Cで、説明のとおりにWindows95でプリンタを接続して設定したが、印刷できない。

対処 プリンタ･ポートモニタの使用方法の例を以下に記述します。
NetWare環境の場合は、［・ NetWare環境の場合］(P83)を参照してください。
（例では、「MJ-900C」の場合について説明しています。他の機種の場合は機種名を読み替えてください。）

• プリンタ･ポートモニタの場合

1 『ｽﾀｰﾄ』→『設定』→『ﾌﾟﾘﾝﾀ』を選択し、先に作成した「MJ-900C」をダブルクリックします。

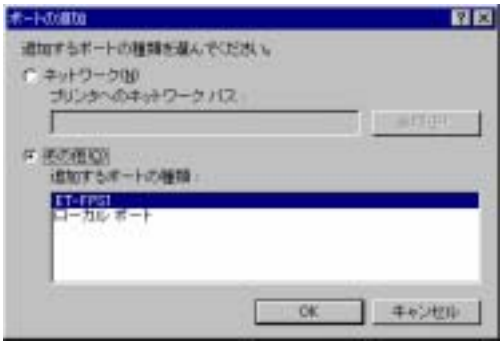


2 『ﾌﾟﾘﾝﾀ』メニューの『ﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨ』を選択します。

3 「詳細」タブの[ﾎﾟｰﾄの追加]ボタンをクリックします。



4 「その他」の中の「ET-FPS1」を選択し、[OK]ボタンをクリックします。



5 **「ﾃﾞﾊﾞｲｽ名」の欄は[参照]ボタンをクリックし、表示されたET-FPS1の一覧から、適切なET-FPS1を選択します。「名前」欄はここで設定可能なので、半角8文字以内の名前を指定します。ただし、最後の文字は半角で":"(コロン)を使用します。**

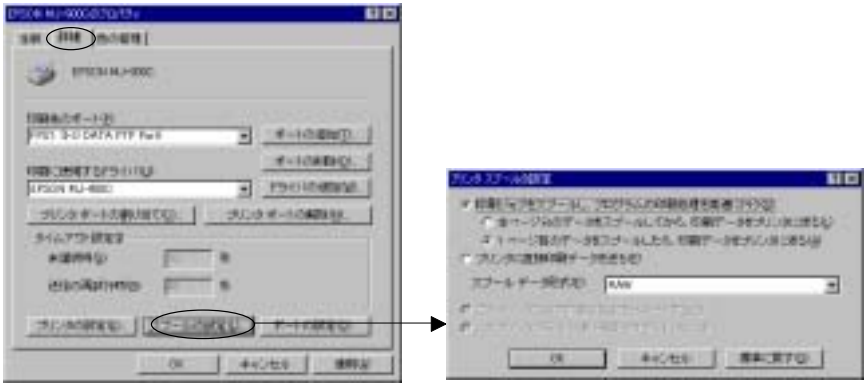
(TCP/IPの場合は、「ﾃﾞﾊﾞｲｽ名」欄は「IPｱﾄﾞﾚｽ」欄になります。)



例では、「名前」に「FPS1:」を指定しています。(「:」コロンを付ける)

設定が完了したら、[OK]ボタンをクリックし、ﾌﾟﾛﾊﾟﾃｨに戻ります。

・ここまでの設定終了後のプロパティの画面

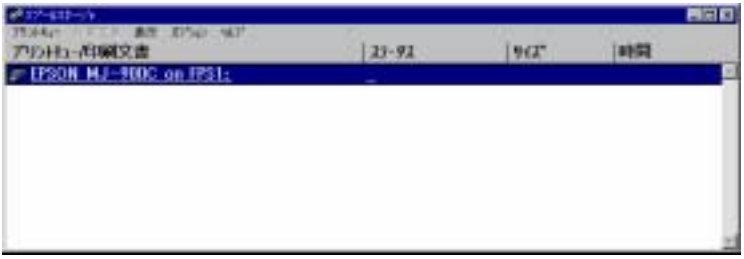


ここまでの状態では、まだ印刷可能になっていません。続いて、次ページからのスプールマネージャーの設定が必要です。

6 **EPSONメニューの『ｽﾌﾟｰﾙﾏﾈｰｼﾞｬ』を起動します。**



7 **作成したプリンタ「EPSON MJ-900C on FPS1:」を選択します。**



8 **「ﾌﾟﾘﾝﾄﾏﾈｰｼﾞｬを使用する」をチェックし、プリントマネージャを有効にします。**



以上で、ET-FPS1でのMJ-900Cの設定は完了です。

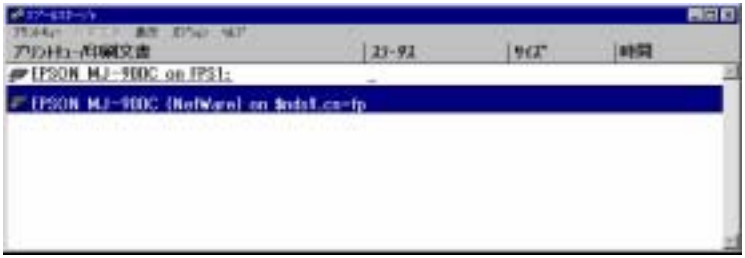
• NetWare環境の場合

（例では、「MJ-900C」の場合について説明しています。他の機種の場合は機種名を読み替えてください。）

1 **EPSONメニューの『ｽﾌﾟｰﾙﾏﾈｰｼﾞｬ』を起動します。**



2 **作成したプリンタ「EPSON MJ-900C(NetWare) on $nds\.cn=fp」を選択します。**



3 **「ﾌﾟﾘﾝﾄﾏﾈｰｼﾞｬを使用する」をチェックし、プリントマネージャを有効にします。**



以上で、ET-FPS1でのMJ-900Cの設定は完了です。

● NetWare環境でご使用の場合(DOSユーティリティ使用時)

NetWareプリントキューの追加または変更後にET-FPS1がリセットしてしまう。

対処 プリントキューの追加または変更後にET-FPS1を再起動すると何らかの不都合がある場合、PCONSOLEの［プリントサーバ状態］の［制御］メニューを使用すれば、一時的な変更ができます。その後で、PCONSOLEの［プリントサーバ構成］を使用して、ファイルサーバの設定を変更します。一時的な変更はただちに有効となるので、ET-FPS1を再起動することなく新しい設定を使用できます。ET-FPS1が再起動された時点で、一時的な変更は削除され、恒久的な変更内容の方が有効になります。

PCONSOLEの［プリントサーバ状態］の［制御］メニューを使いたいが、設定を変更できない。

原因 プリントサーバオペレータ以外のユーザに対しては、［プリントサーバ状態］の［制御］メニューの機能は読取り専用になります。

対処 プリントサーバオペレータのステータスを割り当てるには、まずスーパバイザ権限でログインします。PCONSOLEを実行し、［プリントサーバ情報］を選択してから、プリントサーバ名を選択します。次に［プリントサーバオペレータ］を選択します。ここで〈Insert〉キーを押して、プリントサーバオペレータのリストに追加したいログイン名を追加します。

ジョブが2つに分断される。

原因 CAPTUREコマンドのタイムアウト設定時間が短すぎる可能性があります。

対処 CAPTUREコマンドの /TI=nオプションを使用してタイムアウト時間を長く変更してみてください。

ET-FPS1に接続されているプリンタの印刷内容に異常がある。

対処 問題の原因を突き止めるために、次のテストを実行してください。

〔テスト1〕テキストとグラフィックの印刷を比較する

テキストファイルは正常に印刷されるのにグラフィックファイルの印刷には異常がある場合は、/NTオプション（タブコードの置換を行わない）を指定してNPRINTまたはCAPTUREコマンド（〔6.4 NetWare関連情報〕（P76）参照）を実行します。両方とも正常に印刷される場合は、テスト2の操作3に進んでください。

〔テスト2〕プリンタをクライアントパソコンのパラレルポートに接続して、キューの内容をプリンタにコピーする

①PCONSOLEを起動し、ET-FPS1のキューへのスプールを一時的に無効にしてそのキューのオブジェクトIDを検出するために、PCONSOLEを使用します。

■NetWare3.xJの場合

1. 〔プリントキュー情報〕を選択し、ET-FPS1で使用しているキューを選択します。
2. 〔現キュー状況〕を選択します。
3. 〔サーバーはキューを登録しサービスできます〕の設定を〔NO〕にします。
4. 〈Esc〉キーを押し、〔プリントキューID〕を選択します。
5. キューのオブジェクトIDを何かにメモします。

■NetWare4.xJの場合

1. 〔プリントキュー〕を選択し、ET-FPS1で使用しているキューを選択します。
2. 〔状況〕を選択します。
3. 〔現在のプリントサーバでサービスする〕の設定を〔NO〕にします。
4. 〈Esc〉キーを押し、〔情報〕を選択します。
5. キューのオブジェクトIDを何かにメモします。

②これでET-FPS1のキューに対するサービスは無効になったので、印刷に異常のあったファイルのうちの1つを探し出して、無効にされたキューにそのファイルを出力します。次の手順に従って、ネットワーク印刷をローカル印刷にするように、ルートを再設定します。

1.ET-FPS1に接続されたプリンタを取り外して、クライアントパソコンのパラレルポートに接続し直します。

2.カレントドライブを、対象となるプリントキューを含むファイルサーバ上のドライブに変更します。たとえば、「n:」と入力します。

3.DOSのCDコマンドを使って、NetWareのシステムディレクトリの無効にされたキューを含むサブディレクトリを、カレントディレクトリにします。事前にメモしておいたオブジェクトIDと照合すれば、目的のキューが探し出せます。
たとえばメモしたオブジェクトIDが「38000001」だった場合は、次のように入力します。

```
cd  \system\38000001.qdr ・
```

4.キューの内容をクライアントパソコンのハードディスクにコピーするために、/bスイッチ付きでCOPYコマンドを使用します。たとえば次のようにします。

```
copy  /b  *.*  c:\test ・
```

5.キューの内容をクライアントパソコンのハードディスクからそのクライアントパソコンに接続されたプリンタにコピーするために、/bスイッチ付きでCOPYコマンドを使用します。たとえば次のようにします。

```
copy  /b  c:\test  LPT1 ・
```

③プリンタをクライアントパソコンのパラレルポートから取り外して、ET-FPS1に接続し直します。

④PCONSOLEを起動し、ET-FPS1のキューへのスプールを再び有効にするために、PCONSOLEを使用して次の手順を実行します。

■NetWare3.xJの場合

1. [プリントキュー情報] を選択し、ET-FPS1で使用しているキューを選択します。
2. [現キュー状況] を選択します。
3. [サーバーはキューを登録しサービスできます] の設定を [YES] にします。

■NetWare4.xJの場合

1. [プリントキュー] を選択し、ET-FPS1で使用しているキューを選択します。
2. [状況] を選択します。
3. [現在のプリントサーバでサービスする] の設定を [YES] にします。ET-FPS1に接続されたプリンタに、プリントジョブが出力されます。
   PCからのプリント出力結果とET-FPS1からのプリント出力結果を比較します。
   結果がまったく同一ならば、ET-FPS1には問題ありません。考えられる原因としては、不適切なプリンタドライバを選択している可能性もあります。またCAPTUREコマンドのタイムアウト設定時間が短すぎる可能性もあります。
   プリンタ出力結果が同一でない場合は、ET-FPS1に問題があると考えられます。PLANTコールセンターにお問い合わせください。

付録2 用語解説

100BASE-TX (ﾋｬｸﾍﾞｰｽ ﾃｨｰｴｯｸｽ)

100Mbpsイーサネット接続で使用するEthernetのIEEE規格の1つで、非シールドまたはシールドのツイストペアケーブルを使用します。

10BASE-T (ﾃﾝﾍﾞｰｽ ﾃｨｰ)

非シールドのツイストペアケーブルを使用するEthernetのIEEE仕様。伝送速度は、10Mbps。

IEEE 802.3 規格 (ｱｲﾄﾘﾌﾟﾙｲｰ ﾊﾁﾏﾙﾆﾃﾝｻﾝ ｷｶｸ)

ローカルエリアネットワークの物理的、電気的特性の標準規格の1つ。
IEEE(Institute of Electrical and Electronics Engineers)によって規格化されました。
IEEE 802.3u規格は100Mbpsについて取り決めたもの。

IPX/SPX (ｱｲﾋﾟｰｴｯｸｽ/ｴｽﾋﾟｰｴｯｸｽ) プロトコル

(Internet Packet eXchange / Sequenced Packet eXchange)
Novell 社が、Xerox Network Standard(XNS)を参考に開発した独自のプロトコルで、NetWare3.11以前のバージョンではNetWareで使える唯一のプロトコルでした。特徴はクライアント側に細かな設定が不要であるという点で、IPアドレスなどを自動で設定します。

LPR（エルピーアール）

印刷プロトコルのひとつです。UNIXの印刷コマンドとして知られています。パソコンネットワークの普及にともなって、パソコン上のOSもこの印刷プロトコルによる印刷ができるようになってきました。WindowsNTでは標準でLPR機能を持っています。（詳細はWindowsNTのヘルプを参照してください。）

NetBEUI（ネットビュウイ）プロトコル

（NetBios Extended User Interface）
IBMにより、1985年に開発されたプロトコルの名称。Microsoft Network/LANmanagerやIBM LANserverなどに採用されています。TCP/IPより高速で、Windows NTやOS/2 Warp Serverなどでは今でも使用できますが,NetBEUIにはルーティングできないという致命的な欠点がありネットワークの分割が不可能なため、大規模なネットワークでは事実上使用する事ができません。

NetWare（ネットウェア）

ノベル社のネットワークオペレーティングシステム(異なったプラットホーム間の通信･データ共有を実現するシステム)。
NetWare Core Protocol(NCP)、Internetwork Packet Exchange(IPX)、そしてSequential Packet Exchange(SPX)のプロトコルを使用します。

RJ-45 Connector（アールジェイ　ヨンゴ　コネクタ）

ツイストペアケーブルを接続するコネクタで最も普及している形式です。

TCP/IP (ﾃｨｰｼｰﾋﾟｰ/ｱｲﾋﾟｰ) [Transmission Control Protocol/Internet Protocol]

Advanced Research Projects Agency(ARPA)によって開発されたプロトコル一式。主にネットワーク層プロトコル(IP)と、トランスポートプロトコル(TCP)を含みます。

トラフィック (Traffic)

ネットワークの情報量を指します。

バナーページ

ひとつひとつの印刷ジョブの先頭に付加する区切りページです。NetWareやLPRの印刷では、ユーザ名などが記載されています。ピアツーピア印刷では、ユーザがバナーページに表示する文字を設定できます。ネットワークプリンタでは多くの人が印刷を行うので、誰が印刷した文書か見分けるときに効果的です。

ピアツーピア (peer to peer)

パソコン同士を対等 (peer to peer) に接続する小規模LANのことです。

プリントキュー

プリントジョブをプリンタに転送する前に一時的に保存して置く場所です。この一時的に保存して置く動作を「キューイング」といいます。プリントキューにはプリントキュー名があり、NetWareではプリントキュー名を指定して印刷を行います。

付録3 設定ツールについて

この章では、ET-FPS1の管理を行うための設定ツールの機能･コマンドを説明します。
(ET-FPS1管理者のみお読みください。)

付3.1 設定ツールの概要

本製品には、ET-FPS1の設定･管理するためのツール「ET-FPS1設定ツール」を付属しています。
設定ツールとして以下の2種類があります。
いずれか一方をインストールしてください。

1. Windows用設定ツール (IOADMIN2)
2. DOS用設定ツール (IOCONF2、PSINSTAL、SETDIAGの3つ)


注 意

1)IOADMIN2はリストに表示されるすべてのET-FPS1の設定の変更等ができるため、不用意に他のユーザがIOADMIN2を使用して変更しないよう注意してください。(ET-FPS1管理者以外はインストールしないでください。)
2)IOADMIN2とDOS用設定ツールはほぼ同様の機能があり、同様の設定が可能ですが、「印刷中のジョブの削除」はWindows用設定ツール (NetWareサーバ環境またはLPR時) のみしかできません。
3)設定ツールを動作させるためには、必要なネットワークがあります。詳細は、[3.2.2] (P19)を参照してください。
4)設定ツールのインストール方法は、[3.2.3] (P21)及び [3.2.4] (P21)を参照してください。

付3.2 IOADMIN2

付3.2.1 IOADMIN2の基本操作

ここでは、「IOADMIN2」の基本操作について説明します。

1 「ET-FPS1 ADMIN」グループから「IOADMIN2」を起動します。

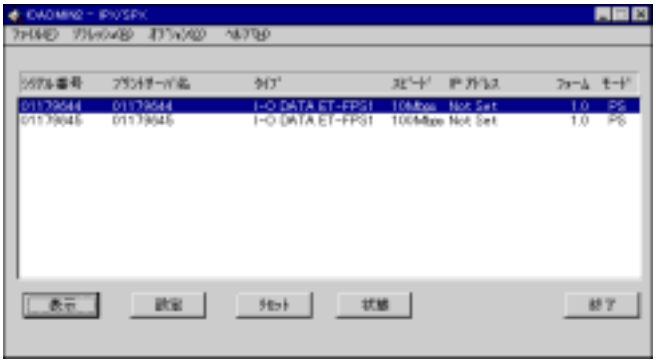
2 ET-FPS1設定用で使用しているプロトコルを選択後、[OK]ボタンをクリックします。



注 意

ご使用の環境にIPX/SPXまたはTCP/IPいずれか一方のプロトコルしか使用していない場合はこの画面は表示されません。

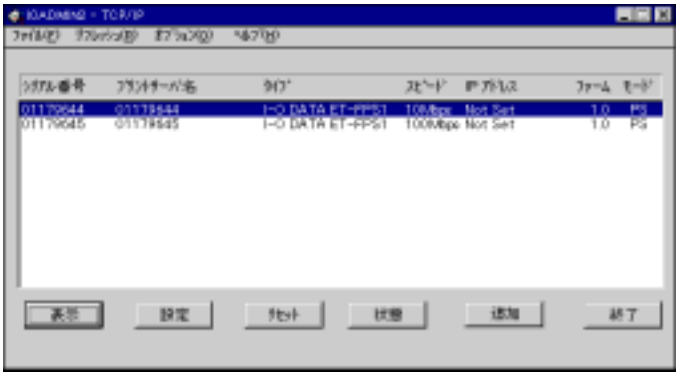
3 しばらくすると「IOADMIN2」画面が表示されます。



この画面から各種設定や設定内容の表示の確認等ができます。

付3.2.2 「IOADMIN2」画面

IOADMIN2のメインウィンドウには、メニューバーと登録されているET-FPS1のリストで構成されています。



IOADMIN2を起動すると、IOADMINからネットワークに対して稼働中のET-FPS1についての照会が行われます。IOADMINはメインのリストに、稼働中のET-FPS1のシリアル番号,デバイス名,タイプ,スピード,IPアドレス,ファーム,モードを表示します。

シリアル番号	製造時にそのET-FPS1に割り当てられた英数字です。シリアル番号は、ET-FPS1本体底部に貼られたラベルに印刷されています。(確認方法はP9を参照)
プリントサーバ名	ネットワーク上でET-FPS1のプリントサーバ名です。NetWare環境で使用する場合に変更できます。 (特に変更する必要はありません。)
タイプ	ET-FPS1の種類です。
スピード	ET-FPS1が接続しているLANが100BASE-TXか10BASE-Tかを示します。 100BASE-TXの場合 ･･･ 100Mbps 10BASE-Tの場合 ･･･ 10Mbp
IPアドレス	ET-FPS1に割り当てたIPアドレスです。 (IOADMIN2で設定します。)
ファーム	ファームウェアのバージョンです。
モード	NetWare環境 (NetWare3.xJ/4.xJ) で使用する際の現在のモードです。モードには以下の2種類があります。 PS ･･･ プリントサーバモード RP ･･･ リモートプリンタモード

メニュー項目

■［ﾌｧｲﾙ］メニュー

IOADMIN2を終了します。

■［ﾘﾌﾚｯｼｭ］メニュー

IOADMINに表示されるET-FPS1のリストを更新します。リストは最新の保存済み情報に更新されます。

■［ｵﾌﾟｼｮﾝ］メニュー

工場出荷時設定に戻す	工場出荷時設定に戻します。
起動時のﾌﾟﾛﾄｺﾙ画面を表示する	起動時のプロトコル選択画面（IPX/SPX、TCP/IP）選択画面の表示･非表示を設定できます。
ﾌｧｰﾑｳｪｱのｱｯﾌﾟﾃﾞｰﾄ	ET-FPS1ファームウェアの更新を行う場合に選択します。

■[ﾍﾙﾌﾟ]メニュー

［ﾊﾞｰｼﾞｮﾝ情報］	IOADMIN2のバージョン情報を表示します。 

ボタン項目

■［表示］ボタン

選択したET-FPS1に関する一般情報と設定情報が表示されます。

■［設定］ボタン

このメニューを使用すると、選択したET-FPS1の設定の表示と変更ができます。このメニュー内の各コマンドを使用することで、各環境（NetWare、TCP/IP）用のプリントサーバ設定、パラレルポートの設定、デバイス名の変更、使用しないプロトコルの設定解除等の操作を行えます。

設定の詳細は、［第4章］～［第6章］を参照してください。

■［リセット］ボタン

選択したET-FPS1をリセットします。

ハードウェアの異常時にお試しください。

■［状態］ボタン

現在のET-FPS1の状態を表示します。

「印刷中のジョブの削除」を行うこともできます。（「NetWare印刷」及び「LPR」時のみ）

■［追加］ボタン（TCP/IP接続時のみ）

他のセグメントにあるET-FPS1を管理したい場合に、IPアドレスを直接指定して、リストに加えます。

■［終了］ボタン

IOADMIN2を終了します。

付3 DOS用設定ツール

DOS用設定ツールには、IOCONF2、PSINSTAL、SETDIAGの3つがあります。
DOS上（WIndowsのDOSコマンドプロンプトを含む）で動作するプログラムです。

注 意

DOS用設定ツールは、「ET-FPS1設定ツール②」ディスクにあります。
インストール方法は、［3.2.4］(P21)を参照してください。

付3.3.1 IOCONF2

【書式】
IOCONF2　シリアル番号　N=E　［オプション］
注）「シリアル番号」と「N=E」は必ず指定する必要があります。
（「N=E」とはET-FPS1をイーサネット接続している事を示しています。）

例1）現在の設定内容を表示する場合（オプション：SHOW）
［シリアル番号が01101234の場合］
IOCONF2　01101234　N=E　SHOW
例2）ET-FPS1をリセットする場合（オプション：RESET）
［シリアル番号が01101234の場合］
IOCONF2　01101234　N=E　RESET

【オプション一覧】

機能	オプション名	参照ページ
現在の設定内容の表示	SHOW	98
プリントサーバのリセット（再起動）	RESET	98
プリントサーバのモード変更 （プリントサーバ／リモートプリンタ）	MODE	99
プリントサーバ名の変更	NN	100
プリントサーバパスワードの設定	NP	100
構成レポート出力の有無	RP、NORP	100
パラレルポートのストローブ速度の設定	SPAn	101
プリントサーバキューのポーリング間隔の設定	T	101
イーサネットのタイプの指定	C	102
ネットワークオペレーティングシステムの設定	NOS	102
NDSツリー名の設定	TREE	103
NDSコンテキストの設定	CX	103
IPアドレスの設定	IPA	103
初期設定のゲートウェイの設定	ROUTE	103
サブネットマスクの設定	MASK	104
プリントサーバの設定を工場出荷時の値に戻す	VA	104

現在の設定内容の表示　SHOW

ET-FPS1の現在の設定内容と、マスタファイルサーバについての情報を表示します。表示内容は、ET-FPS1の動作モード（プリントサーバモード／リモートプリンタモード）によって異なります。

例）［シリアル番号が01101234の場合］

IOCONF2　01101234　N=E　SHOW

プリントサーバのリセット（再起動）　RESET

指定したET-FPS1をリセットします。

例）［シリアル番号が01101234の場合］

IOCONF2　01101234　N=E　RESET



注 意

プリントサーバモードの時は、次の操作の後にET-FPS1をリセットする必要があります。

・ポートのサービスリストに対し、キューの追加・削除をする。
・ポートの名前、構成を変更する。（構成レポート出力の有無、レポート書式の変更を含む。）
・キューのポーリング間隔を設定する。
・イーサネットパケットのフレームタイプを変更した時。
・NDSツリー、NDSコンテキストを設定／変更した時。
・IPアドレス、ゲートウェイアドレス、サブネットマスクを設定／変更した時。
・工場出荷時の設定に戻す。

プリントサーバのモード変更 (プリントサーバ／リモートプリンタ)	MODE

ET-FPS1をプリントサーバとして使用するか、リモートプリンタとして使用するかを設定します。

【書式】

IOCONF2　シリアル番号　N=E　MODE=PS　　または

IOCONF2　シリアル番号　N=E　MODE=RP+PS_NAME+PORT_NUM

パラメータ	意味
MODE=PS	プリントサーバモードに指定します。(初期設定)
MODE=RP	リモートプリンタモードに指定します。以下のパラメータと一緒に指定する必要があります。
PS_NAME	プリントサーバ名を指定します。
PORT_NUM	ET-FPS1のLPT1を割り付けるプリンタ番号 (NetWare 3.xJの場合は0～15,IntranetWareの場合は0～254) を指定します。このプリンタ番号のプリンタのタイプは、NetWare 3.xJの場合は「リモートパラレル,LPT1」に、IntranetWareの場合は「ポート」が「LPT1」、「位置」が「手動ロード」に指定されている必要があります。

例)［リモートプリンタモードを設定する時］

IOCONF2　01101234　N=E　MODE=RP+PSERVER+0

プリントサーバ名の変更　NN

マスタファイルサーバに登録されているプリントサーバ名を変更します。

【書式】

IOCONF2　シリアル番号　N=E　NN=NEW_NAME


注 意

NEW_NAMEで指定する「ﾌﾟﾘﾝﾄｻｰﾊﾞ名」は半角英数字47文字以内で入力してください。
ただし次の文字は使用できません。
スラッシュ(/),バックスラッシュ(\),コロン(:),セミコロン(;),
カンマ(,),アスタリスク(*),疑問符(?),縦棒(|),プラス(+),等号(=),
ブラケット([ ]),ピリオド(.),2重引用符("),不等号(<>),空白,Ctrl
ただし、ピリオド(.)は名前の1文字目以外であれば使用できます。

プリントサーバパスワードの設定　NP

パスワードを変更します。

【書式】

IOCONF2　シリアル番号　N=E　NP=NEW_PASSWORD


注 意

NEW_PASSWORDで指定する「パスワード」は最大127文字まで入力できます。
ただし、実際にはDOSの制限により127文字よりも少なくなります。
設定されているパスワードを消去するには、"NP="と入力します。

構成レポート出力の有無　RP、NORP

指定したポートに構成レポートを出力するかどうかを指定します。

【書式】

IOCONF2　シリアル番号　N=E　PAn=RP　　または

IOCONF2　シリアル番号　N=E　PAn=NORP

パラメータ	意味
PAn	ET-FPS1のパラレルポート番号を指定します。PA1はLPT1に対応しています。
RP	レポートを出力させる指定です。
NOAP	レポートを出力させない指定です。

パラレルポートのストローブ速度の設定　SPAn

パラレルポートに対して、データ送信のストローブ速度が指定できます。初期設定はS3（中速）です。

【書式】

IOCONF2　シリアル番号　N=E　SPA1=Sn　（nは1～5）

パラメータ	意味
S1	超低速（ストローブ速度は8μ秒）
S2	低速（ストローブ速度は4μ秒）
S3	中速（ストローブ速度は2μ秒）
S4	高速（ストローブ速度は1μ秒）
S5	超高速（ストローブ速度は0.625μ秒）

プリントサーバキューのポーリング間隔の設定（プリントサーバのみ）　T

パラレルポートが、キュー上の印刷待ちジョブを調べる間隔を設定します。
ネットワーク上のトラフィックを減らすために、この間隔を1秒～30秒までの範囲で1秒単位で設定できます。初期設定は5秒です。

【書式】

IOCONF2　シリアル番号　N=E　T=n　（nは1～30）

イーサネットのタイプの指定　C

接続されているイーサネットのネットワークタイプを設定します。

【書式】

IOCONF2　シリアル番号　N=E　C=ETHERNET_TYPE

パラメータ	意味
C=0000	802.3、802.2、802.2_SNAP、Ethernet II type8137兼用
C=1	802.3
C=10	802.2
C=20	802.2_SNAP
C=8137	Ethernet II type8137

ネットワークオペレーティングシステムの設定　NOS

ET-FPS1のネットワークオペレーティングシステムを設定します。

【書式】

IOCONF2　シリアル番号　N=E　NOS=x　(xはN,U,B,Aのいずれか)

パラメータ	意味
NOS=N	ET-FPS1のネットワークオペレーティングシステムとしてNetWareを指定します。プリントサーバNetWareプリントキューだけを使用します。
NOS=U	ET-FPS1のネットワークオペレーティングシステムとしてWindows(TCP/IPピアツーピア、LPR)を設定します。起動時にNetWareファイルサーバを探しません。 また、NetWareのプリントキューも使用しません。
NOS=B	ET-FPS1のネットワークオペレーティングシステムとしてWindows(NetBEUI ピアツーピア)を設定します。
NOS=A	NetWareとWindows(ピアツーピア、LPR)のすべてを設定します。(初期設定)

複数のプロトコルを使用する場合、NDS=N+B,N+Vのように「+」(プラス)を使用し設定できます。

NDSツリー名の設定　TREE

IntranetWare NDS環境で、プリントサーバが動作するツリー名を設定、変更します。

【書式】

IOCONF2　シリアル番号　N=E　TREE=ツリー名

NDSコンテキストの設定　CX

IntranetWare NDS環境で、プリントサーバが動作するコンテキストを設定、変更します。

【書式】

IOCONF2　シリアル番号　N=E　CX=コンテキスト名

IPアドレスの設定　IPA

ET-FPS1のIPアドレスを設定します。

【書式】

IOCONF2　シリアル番号　N=E　IPA=IP_ADDRESS

例）[IPアドレスが xxx.xxx.xxx.xxxの場合]

IOCONF2　01101234　N=E　IPA=xxx.xxx.xxx.xxx

ゲートウェイの設定　ROUTE

ET-FPS1が他のIPセグメントへデータを転送する際に使用するルータまたはゲートウェイのIPアドレスを指定します。

【書式】

IOCONF2　シリアル番号　N=E　ROUTE=IP_ADDRESS

例）[IPアドレスが xxx.xxx.xxx.xxxの場合]

IOCONF2　01101234　N=E　ROUTE=xxx.xxx.xxx.xxx

サブネットマスクの設定　MASK

ET-FPS1にサブネットマスクを設定します。

【書式】

IOCONF2　シリアル番号　N=E　MASK=SUBNET_MASK

例）[サブネットマスクが xxx.xxx.xxx.xxxの場合]

IOCONF2　01101234　N=E　MASK=xxx.xxx.xxx.xxx

プリントサーバの設定を工場出荷時の値に戻す　VA

すべての設定値を工場出荷時の値に初期化します。

【書式】

IOCONF2　シリアル番号　N=E　VA

付3.3.2 PSINSTAL

NetWare3.xJまたはIntranetWareのバインダリモードにおいて、ET-FPS1をプリントサーバとして設定するためのプログラムです。
このプログラムを使用するためには、管理者権限でログインしなければなりません。

使用方法については、「・ PSINSTALによるET-FPS1の設定」(P56)を参照してください。

付3.3.3 SETDIAG

診断レポートの出力をするかどうかを設定するプログラムです。

[書式] SETDIAG シリアル番号 N=E YESまたはNO

パラメータ	意味
YES	診断レポートを出力させる
NO	診断レポートの出力をやめる

診断レポート出力を止めるように設定している状態で障害が発生し、ET-FPS1がNetWareマスタファイルサーバと通信できなくなった時は、診断レポートの出力はできません。

付録4 SNMPによる管理

ET-FPS1には接続されているプリンタとET-FPS1自身を管理するためのSNMPエージェント機能が搭載されています。この章では、SNMPによる管理の仕方について説明します。

● SNMPとは

SNMPとは、簡易ネットワーク管理プロトコル (Simple Network Management Protocol) の略称で、ネットワーク上にある様々な機器を管理できる標準プロトコルです。

SNMPは、SNMPマネージャとNMPエージェントから構成されています。基本的には、SNMPエージェントは管理されている機器に搭載されており、SNMPマネージャはエージェントから情報を得ます。マネージャ及びエージェントは、MIB (Management Information Base) と呼ばれる管理情報を持っており、この管理情報を基にして機器の管理を行います。

マネージャとエージェント間の情報伝達動作には、以下の5つがあります。

情報伝達動作	動作内容
Get Request	マネージャがエージェントの管理情報の内容を採取するための要求
Get Next Request	マネージャがエージェントの次の管理情報の内容を採取するための要求
Set Request	マネージャがエージェントに情報を設定するための要求
Get Response	Get,Get Next,Set Requestのそれぞれの要求に対する応答
Trap	管理対象の機器に何らかの異常やイベントが発生した場合に、エージェントからマネージャに対して送信される情報

● SNMP機能を使用するための設定

ET-FPS1でSNMP機能を使用するためには、以下が必要です。

- ・ SNMPマネージャ
- ・ ETFPS1.MIBとRFC1318.MIBの導入
- ・ TRAPのターゲットアドレスとコミュニティ名の設定

・ SNMPマネージャ

SNMPマネージャが必要で、現在動作実績のあるSNMPマネージャは以下のものです。

SUN Net Manager2.0

・ ETFPS1.MIBとRFC1318.MIBの導入

「ET-FP1設定ツール②」ディスクのMIBフォルダ（ディレクトリ）に収められています。それぞれのMIBによって、主に次のような情報を得ることができます。

・ETFPS1.MIB

ET-FPS1本体の管理を行うためのMIBです。プロダクト情報の取得、アドレス情報の取得・設定、コミュニティ名の取得・設定等、ET-FPS1本体の情報の取得・設定ができます。

・RFC1318.MIB

プリンタの管理を行うためのMIBです。プリンタのSELECT信号、BUSY信号、PAPER ERROR信号、ERROR信号がONかOFFを知ることができます。これらの信号の状態から、プリンタがどういう状態にあるかを把握できます。

これらのMIBをご使用のSNMPマネージャに導入してください。方法は、各SNMPマネージャのマニュアルを参照してください。

・ TRAPのターゲットアドレスとコミュニティ名の設定

ET-FPS1からTRAPを得るためには、TRAPパケットの送信先のIPアドレス、TRAPコミュニティ名を設定しなければなりません。TRAPターゲットアドレスとコミュニティ名を設定する時は、次のMIBオブジェクトに値をセットしてください。

ETFPS1.MIBの「SNMP information group」の「pSTrapAddr」と「pSTrapCommunity」

「pSTrapAddr」には、例えば202.48.188.65などの10進数表記のIPアドレス

「pSTrapCommunity」には、コミュニティ名、例えばET-FPS1-trap等の文字列

をセットします。

● ET-FPS1がサポートしているMIB

ET-FPS1がサポートしているMIB

1.ETFPS1.MIB （プライベートMIB）

2.RFC1213.MIB（MIB-Ⅱ）

3.RFC1318.MIB（Parallel-printer-like MIB）

● TRAP

ET-FPS1は起動時に、cold_startのTRAPを送出します。

それ以外のTRAPはET-FPS1より送出されません。

付録5 ハードウェア仕様

ET-FPS1 (プリントサーバ)

プリンタインターフェイス	セントロニクス準拠アンフェノール36ピンオス IEEE1284 ECP対応
LANインターフェイス	RJ-45 (10BASE-T/100BASE-TX) × 1
外形寸法 (mm)	62 × 25 × 95 mm (幅×高さ×長さ)
重量	約80g (本体のみ)
使用温度範囲	5℃～35℃
使用湿度範囲	20～80% (結露しないこと)
消費電力	5W (最大)

PLANTコールセンターへのお問い合わせ

弊社PLANTコールセンターへのお問い合わせはユーザー登録された方に限ります。

■お知らせいただく事項

1. お客様の住所･氏名･郵便番号･連絡先の電話番号及びFAX番号
2. ご使用の弊社製品名と、サポートソフトウェアディスクのシリアルNo.
   (フロッピーディスクに貼ったVerシールに印刷されています。)
3. ご使用のパソコン本体と周辺機器の型番。
4. ご使用のOS(NOS)とアプリケーションの名称、バージョン及びメーカー名。
5. 現在の状態(どのようなときに、どうなり、今はどうなっているか。画面の状態やエラーメッセージなどの内容)。

■オンライン (パソコン通信)

ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ	http://www.iodata.co.jp/ 「PLANTコールセンターお問い合わせ」内のフォームを使用してE-mailをお送りください。
IOS-NET	ｱｲ･ｵｰ･ﾃﾞｰﾀ機器ﾌｫｰﾗﾑのサポートセンター
NIFTY-Serve	ｱｲ･ｵｰ･ﾃﾞｰﾀｽﾃｰｼｮﾝ(SIODATA)サポート会議室

■郵便

住所　〒920-8512 石川県金沢市桜田町24街区1
株式会社アイ・オー・データ機器
PLANTコールセンター「ET-FPS1」係　宛

■電話

電話番号　東京　03-5256-2010

受付時間　9:30～12:00　13:00～17:00
月～金曜日（祝祭日を除く）

■FAX

FAX番号　東京　03-3254-9055

宛先　株式会社アイ・オー・データ機器
PLANTコールセンター「ET-FPS1」係　宛

本製品に関するお問い合わせはPLANTコールセンターのみで行っています。
予めご了承ください。

サポートソフトのバージョンアップ

入手方法は以下の通りです。なお、当サービスはユーザー登録された方のみが対象です。

■IOS－NET

アクセスポイント
東京　03-5295-6570　　大阪　06-368-2291
金沢　076-234-9811　　VTX(*) 166-77100

『アイ・オー・データ機器フォーラム』→『サポートソフトライブラリ』を選び、必要なソフトや差分ファイルをダウンロードしてください。
(*)VTXのお申し込みと、VTXに対応した通信ソフトが必要です。VTXに関するお問い合わせは最寄りのNTT(0120-443322)へどうぞ。

IOS-NET概要

最大通信速度	33600bps				
通信手順	N81XN (ﾊﾟﾘﾃｨﾋﾞｯﾄなし,8bit DATA,ｽﾄｯﾌﾟﾋﾞｯﾄ1, X ON,ｼﾌﾄ制御なし)				
使用文字コード	シフトJIS		制限時間	30分	
CONNECT ID	IOS	USER ID	GUEST	パスワード	なし

■その他のパソコン通信

ｲﾝﾀｰﾈｯﾄ　http://www.iodata.co.jp/ →「ｻﾎﾟｰﾄ・ﾗｲﾌﾞﾗﾘ」
NIFTY-Serve　ｱｲ・ｵｰ・ﾃﾞｰﾀｽﾃｰｼｮﾝ(SIODATA)のﾗｲﾌﾞﾗﾘ11(LIB 11)

■バージョンアップ窓口からの郵送

下記の窓口までお問い合わせください。(送料及び手数料はお客様負担)

住所　〒920-8512 石川県金沢市桜田町24街区1
株式会社アイ・オー・データ機器
「ET-FPS1」 バージョンアップ係　宛

電話番号　076-263-7070
受付時間　9:30～12:00 13:00～17:00 月～金曜日(祝祭日を除く)

ご注意

- パソコン通信によるダウンロードはお客様の責任のもとで行ってください。
- 添付ソフトウェアの中には、当サービス対象外のソフトウェアもあります。
- このサービスへのご質問は、弊社PLANTコールセンターやバージョンアップ窓口ではお受けできません。

修理について

弊社製品の修理については、以下の事項をご確認のうえ、販売店もしくは弊社PLANTコールセンターへご依頼ください。

- 原則として修理品は弊社への持ち込みが前提です。送付される場合は、発送時の費用はお客様負担、修理後の返送費用は弊社負担とさせていただきます。
  また、修理品のデータに関しましては保証いたしかねます。

- 修理品にはご使用の環境や現在の状態（『PLANTコールセンターへのお問い合わせ』の「お知らせいただく事項」）をお書き添えください。

- 保証期間中は無償で修理いたします。ただし、次の場合は有償となります。
  ◇保証書がない場合
  ◇保証書の所定事項が未記入の場合
  ◇電源ONで挿入、抜去、逆挿入など誤った操作方法や、お買い上げ後の輸送、落下、取り付け場所の移設による破損、故障の場合
  ◇落雷などの事故による破損の場合
  ◇本製品を改造した場合

- 保証期間後は有償で修理いたします。
  製品によっては主要部品がユニット化（一体化）されている場合があります。これらの製品で故障が主要部品におよんでいた場合、各ユニットの交換を実費で行います。

- 修理品送付先

  住所　〒920-8513 石川県金沢市桜田町15街区7　ｱｲ･ｵｰ･ﾃﾞｰﾀ第2ビル
  株式会社アイ・オー・データ機器
  「ET-FPS1」　修理係　宛

※修理品を送付される場合は、輸送時の破損を防ぐため、ご購入時の箱･梱包材を使用してください。また、紛失等のトラブルを避けるため、**宅配便**または**書留郵便小包**でのご送付をお願いいたします。

- 修理品納期問い合わせ窓口

  電話番号　金沢　076-260-3663
  受付時間　9:30～12:00　13:00～17:00
  月～金曜日（祝祭日を除く）

※申し込まれた修理品の納期をお知りになりたい場合は、こちらまでお問い合わせください。

ET-FPS1 取扱説明書
1998.Nov.19 25445-01
発 行　株式会社アイ・オー・データ機器
〒920-8512 石川県金沢市桜田町24街区1

© 1998 I-O DATA DEVICE,INC. All rights reserved.
本製品及び本書は著作権法により保護されておりますので
無断で複写、複製、転載、改変することは禁じられています。

ここにお貼りください。

VERシール